



User Manual

用戶手冊

用戶手冊

Manual del usuario

Manuel de l'utilisateur

Benutzerhandbuch

사용자 설명서

Руководство пользователя

Gebruikershandleiding

Instrukcja obsługi

Uživatelská příručka

Εγχειρίδιο χρήσης

Kullanım Kılavuzu

Manuale d'uso

Handbok

Brugervejledning

Brukerveiledning

Käyttöohje

Felhasználói kézikönyv

مدخستسجدالليد

Manual do Usuário

ユーザーマニュアル

初めに

著作権

©2016 Vivitek. **vivitek**® はDelta Electronics, Inc.の商標です。その他の商標はそれぞれの所有者に所有権があります。値、重量および寸法は概算です。仕様は事前の通知なしに変更することがあります。

免責条項

本書の情報は事前の通知なしに変更することがあります。製造元では本書の内容に関していかなる表明も保証も行わず、また商業的価値や特定目的への適合性に対する黙示的保証を特定の表明するものではありません。製造元は、かかる改訂や変更をユーザに通知する製造元の責務なしに、出版物を改訂したりその内容を変更する権利を留保するものとします

商標の認識

HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE HDMI、HDMIロゴ、ハイディフィニションマルチメディアインターフェースはHDMI Licensing LLCの米国およびその他の国々における商標または登録商標です。

MHL™ MHL、MHLロゴ、Mobile High-Definition LinkはMHL licensing, LLC.の商標または登録商標です。

本マニュアルで使用されているその他の製品名はすべて、それぞれの所有者に帰属し、承認されています。

安全に関する重要な情報

重要:

Qumiを使用する前に、本セクションをよくお読みになることを強くお勧めします。これらの安全と使用に関する指示に従うことで、Qumiを長年にわたって安全にお楽しみいただくことができます。本書を保管し、必要に応じて参照してください。

使用されている記号

装置と本書で使用されている警告の記号は、危険な状態について注意喚起するためのものです。

本書で使用されている次のスタイルは、重要な情報について注意喚起するためのものです。

注:

トピックの追加情報を手近に提供します。



重要:

見落としてはならない追加情報を提供します。



注意:

装置を損傷する状況について注意喚起します。



警告:

装置の損傷、危険な環境の作成、または負傷につながる状況について注意喚起します。

本マニュアルを通して、構成部品とOSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューのアイテムは、この例ではボールド体で示されます。

「リモコンの**メニュー**ボタンを押して**モード設定**メニューを開きます。」

安全に関する全般的情報

- 装置のケースを開けないでください。装置内部にユーザが修理できる部品はありません。修理については、専門の修理技師にお問い合わせください。
- 本書と装置ケースに記載されたすべての警告と注意に従ってください。
- 投映の光源は設計上きわめて明るくなっています。目を損傷する原因となるため、LED照明がオンになっているときはレンズをのぞき込まないでください。
- 装置を不安定な表面やスタンドに設置しないでください。
- 水気のあるところ、直射日光にさらされる場所、または加熱装置の傍でシステムを使用しないでください。
- 装置の上に本やバッグなどの重い物体を載せないでください。

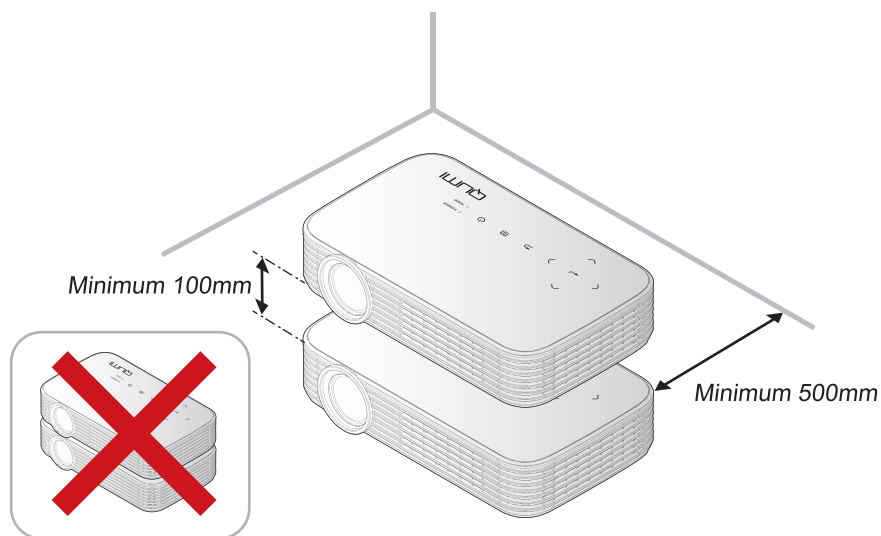
注:

RG1 IEC 62471-5:2015.



Qumi設置に関する通知

- 排気口の回りには500mm以上の間隔を開けてください。



- 吸気口が排気口からの熱風を再利用していないことを確認してください。
- 密閉空間でQumiを操作しているとき、その中の周囲空気温度がQumiの動作温度を超えていないこと、また空気取り入れ口と排気口が遮られていないことを確認してください。
- すべてのエンクロージャーは、Qumiが排気を再利用していないことを確認するために認定された熱評価に合格している必要があります。排気を再利用している場合、エンクロージャーの温度が許容される動作温度範囲に収まっている場合でも装置が停止する原因となります。



注意:

1. 装置を損傷する状況について注意喚起します。
2. 埃っぽい環境でQumiを使用しないでください。

電源に関する安全

- 付属のアダプタのみを使用してください。
- コードの上に物を置かないでください。歩行の邪魔にならないようにコードを敷設してください。
- リモコンを長期間にわたって保管したり、または使用しないとき、バッテリーを取り外してください。

Qumiの洗浄

- 洗浄前にコードを電源から抜いてください。46ページのQumiの洗浄を参照してください。

注:

Qumiは使用後熱くなります。Qumiが十分に冷えてからコンパートメントに保管してください。

規制警告

Qumiを取り付けて使用する前に、55ページの法規制の順守の規制通知をお読みください。

記号の説明



廃棄：電気電子機器を廃棄する場合、家庭廃棄物または都市廃棄物収集サービスを使用しないでください。EU諸国は分別のリサイクル収集サービスを使用するように要求しています。

主な機能

- 16:9縦横比でのネイティブ1080p解像度。
- 最大1,000 LED色輝度および30,000:1のコントラストで、プリラントでシャープな画像を実現。
- 投映面から4メートルで、大きな120インチ(対角)の高精細画像を投映。
- 約3万時間の動作を実現する長寿命でエネルギー効率の高いLED光源。
- 統合ワイヤレスシステムを使って、ドキュメント、写真、ムービーおよびその他のコンテンツをワイヤレスにストリーミング/投映。
- 外部スピーカー取り付け用オーディオポート付き内蔵2Wオーディオスピーカー。

本マニュアルについて

本マニュアルはエンドユーザを対象としており、Qumiの取り付けと操作方法について説明しています。可能なときにはいつでも、イラストやその説明などの関連情報を1ページに保存します。この読みやすく印刷できるレイアウトはユーザの利便性、および用紙を節約することで環境を保護することを念頭に置いています。自分のニーズに関連するセクションのみを印刷するようにお勧めします。



目次

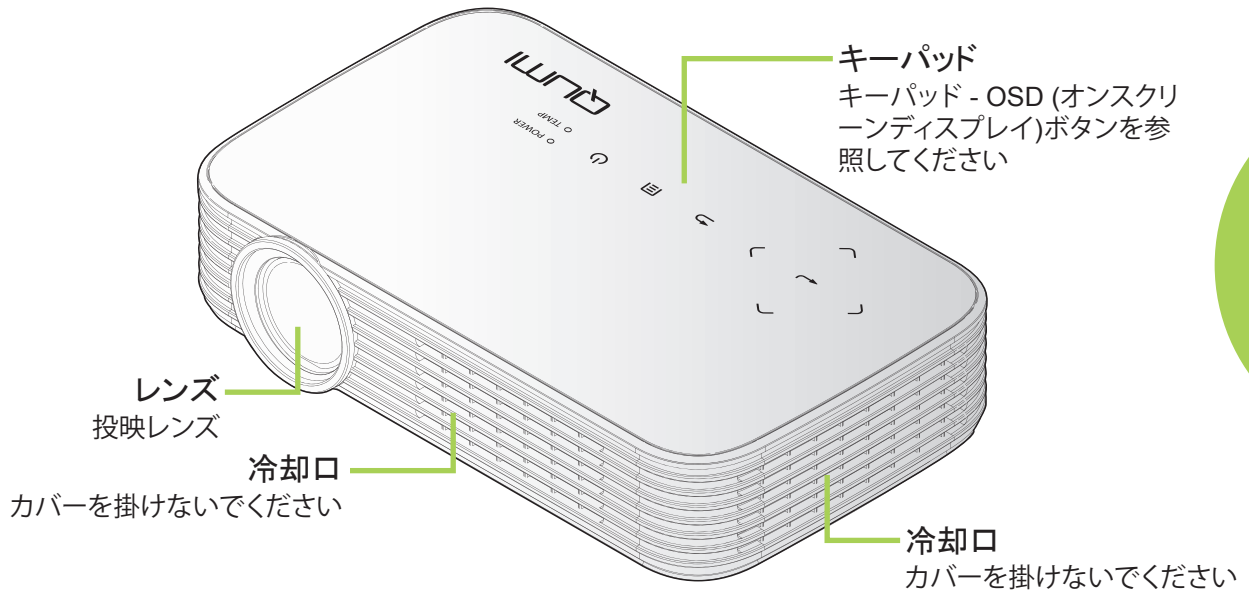
初めに	ii
第1章 外観	1
概要	1
標準のアクセサリ	3
HDMI用リモコン	4
メディア/MHL用リモコン	6
Qumiとリモコンボタン	8
第2章 使用の手引き	9
必要なもの	9
Qumiのセットアップ	10
リモコンのセットアップ	14
第3章 Qumiのユーザインターフェース	15
概要	15
メディア	16
QumiCast	26
USB接続	33
HDMI/MHL	34
Mirror	35
第4章 OSD (オンスクリーンディスプレイ)設定	36
OSDメニュー制御	36
OSD言語の設定	37
OSDメニューの概要	38
OSDメニューの概要	39
色メニュー	40
ディスプレイメニュー	41
情報メニュー	43
オーディオメニュー	44
管理	45
第5章 Qumiのお手入れ	46
Qumiの洗浄	46
レンズの洗浄	46
トラブルシューティング	47
Vivitekサポートサイト	50
仕様	51
投映距離対投映サイズ	52
投映距離とサイズ表	52
タイミングモード表	53
Qumi距離	54
法規制の順守	55
安全性認定	55
廃棄とリサイクル	55



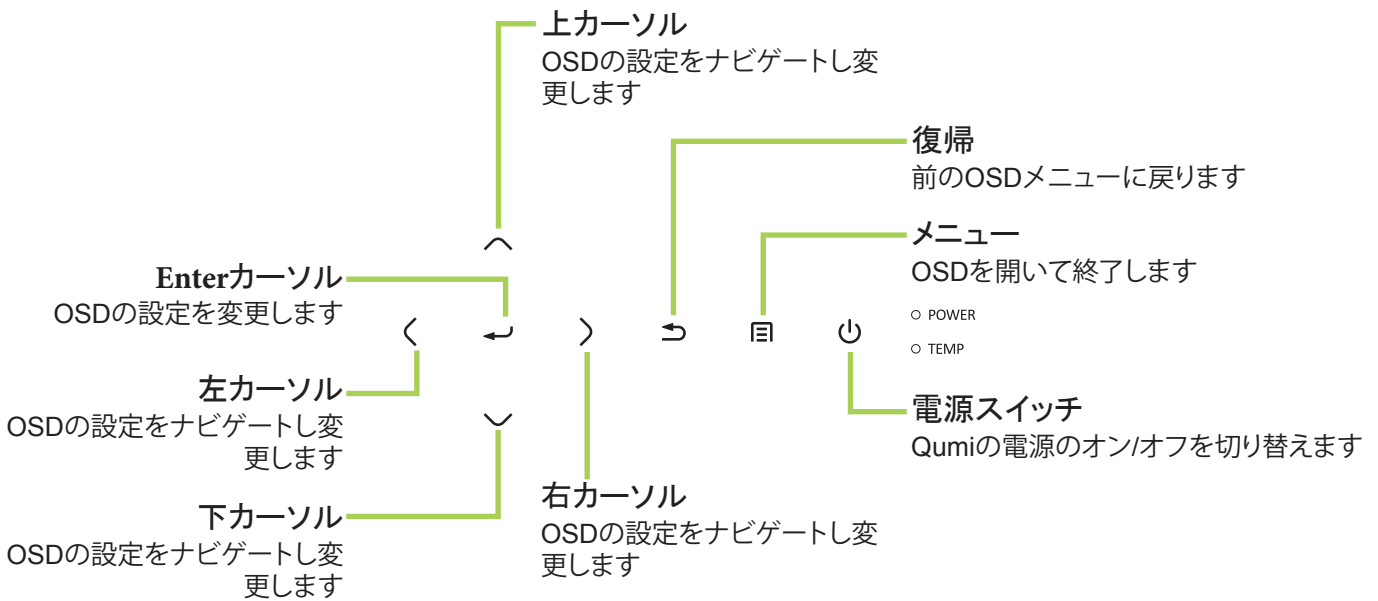
第1章 外観

概要

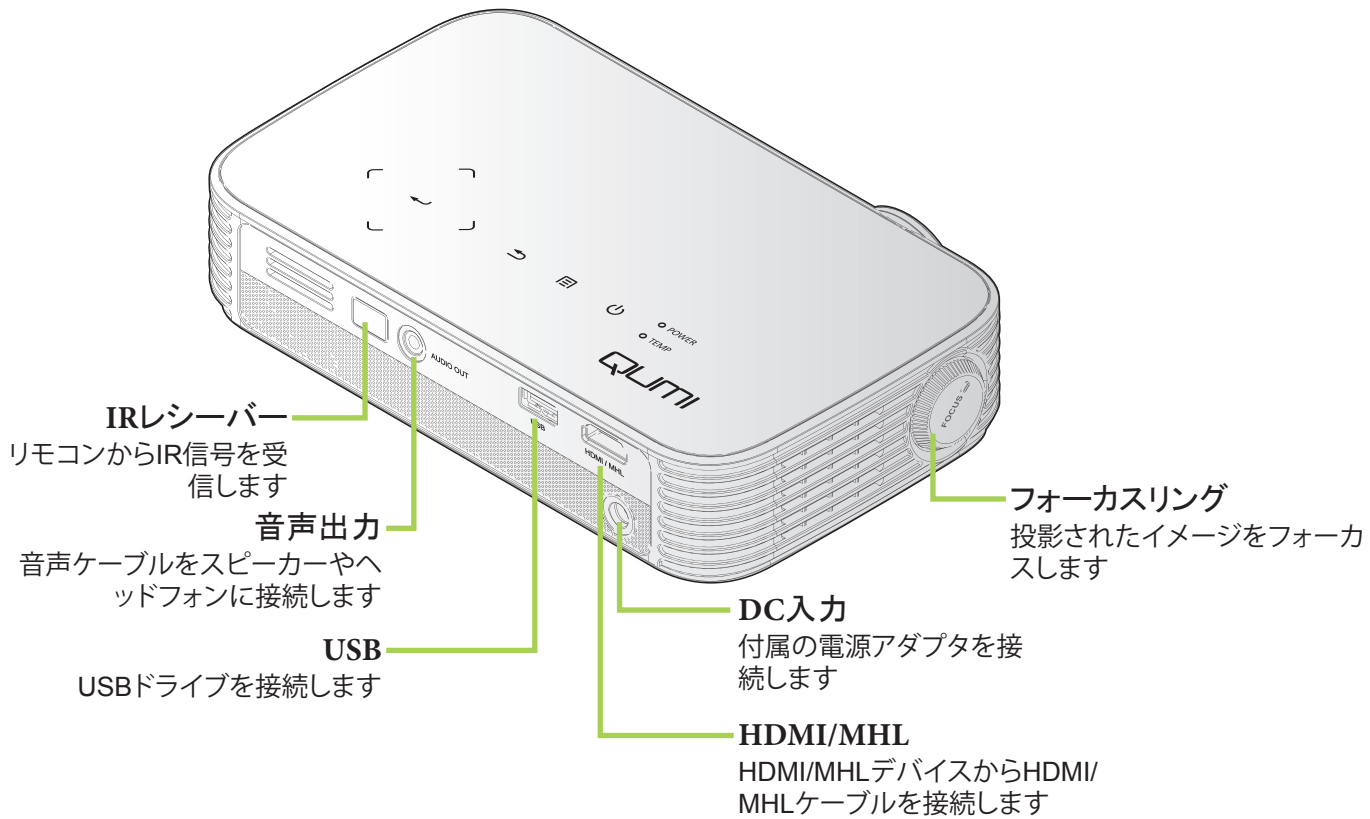
前面/上面/右側面図



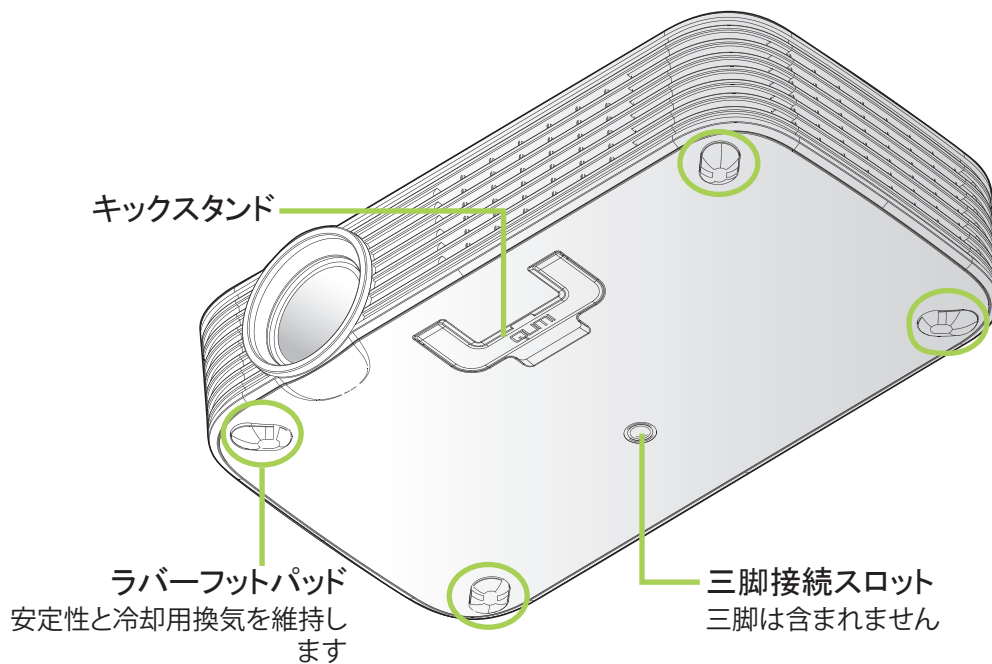
キーパッド



リア/上面/左側面図



底面図



標準のアクセサリ

Qumiの他に、次のアクセサリが含まれます。



リモコン
(3V CR2025バッテリー付き)



地域の電源コードと電源アダプタ



ドキュメンテーションキット
(クイックスタートガイド、保証書)



HDMIケーブル



キャリーケース

付属品が足りないときや損傷している場合、または装置が作動しない場合、直ちに販売店にご連絡ください。保証期間内の修理で機器を送り返すときに必要となる場合があるので、製品を梱包していた箱と梱包材料は捨てずに保管しておいてください。

注:

アクセサリはモデルごとに異なります。

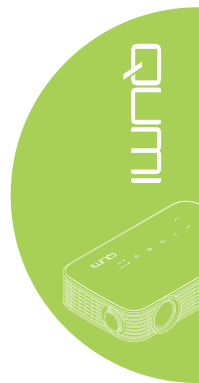


HDMI用リモコン



	キー定義	OSDオフ	OSDオン
	電源オン/オフ	プロジェクタの電源をオン/オフにします。	一度押す -> 警告メッセージ「電源をオフにしますか?」がポップアップ表示されます 二度押す -> プロジェクタの「電源がオフになります」
	上	該当なし	OSDメニューのハイライトを移動します
	ホーム	ホームページに戻ります	ホームページに戻ります
	左	該当なし	メニューで指示した動作を実行します
	Enter/再生/一時停止	該当なし	メニューで指示した動作を実行します
	右	該当なし	メニューで指示した動作を実行します
	メニュー	OSDメニューを開きます	OSDを閉じます
	下	該当なし	OSDメニューのハイライトを移動します
	終了	該当なし	OSDを閉じます
	巻戻し	該当なし	該当なし
	停止	該当なし	該当なし





	キー定義	OSDオフ	OSDオン
	前の	該当なし	該当なし
	ボリュームアップ	ボリュームメニューを開きます	ボリュームメニューが表示されている場合: ボリュームレベルを上昇させます 他のメニューが表示されている場合: メニューを閉じ、ボリュームメニューを開きます
	ボリュームダウン	ボリュームメニューを開きます	ボリュームメニューが表示されている場合: ボリュームレベルが低下します 他のメニューが表示されている場合: メニューを閉じ、ボリュームメニューを開きます。
	消音	音声が消音されていない場合: 音声を消音し、消音メニューを開きます 音声が消音されている場合: 音声を消音解除し、消音解除メニューを開きます	消音メニューが表示されている場合、音声を消音解除し、消音解除メニューを表示します。 消音解除メニューが表示されている場合、音声を消音し、消音メニューを表示します。
			他のメニューが表示されている場合、メニューを閉じます。音声が消音されていない場合、音声を消音し、消音メニューを開きます。
			他のメニューが表示されている場合、メニューを閉じます。音声が消音されている場合、音声を消音解除し、消音解除メニューを開きます。



メディア/MHL用リモコン



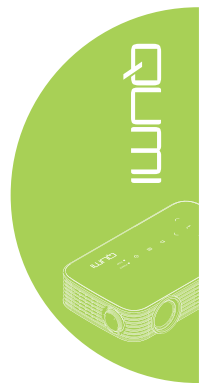
	キー定義	OSDオフ	OSDオン
	電源オン/オフ	プロジェクタの電源をオン/オフにします。	一度押す -> 警告メッセージ「電源をオフにしますか?」がポップアップ表示されます 二度押す -> プロジェクタの「電源がオフになります」
	上	メニュー選択を上に移動します	OSDメニューのハイライトを移動します
	ホーム	ホームページに戻ります	ホームページに戻ります
	左	メニュー選択を左に移動します	メニューで指示した動作を実行します
	Enter/再生/一時停止	メディアサブメニュー、再生/一時停止メディア選択に入ります	メニューで指示した動作を実行します
	右	メニュー選択を右に移動します	メニューで指示した動作を実行します
	メニュー	OSDメニューを開きます	OSDを閉じます
	下	エントリリスト内で下に移動します	OSDメニューのハイライトを移動します
	終了	現在のメニューを終了します	OSDを閉じます
	巻戻し	メディア再生を巻き戻します	メディア再生を巻き戻します
	停止	メディア再生を停止します	メディア再生を停止します

	キー定義	OSDオフ	OSDオン
	前の	リスト内で前のエントリにスキップします	リスト内で前のエントリにスキップします
	ボリュームアップ	ボリュームメニューを開きます	ボリュームメニューが表示されている場合: ボリュームレベルを上昇させます 他のメニューが表示されている場合: メニューを閉じ、ボリュームメニューを開きます
	ボリュームダウン	ボリュームメニューを開きます	ボリュームメニューが表示されている場合: ボリュームレベルが低下します 他のメニューが表示されている場合: メニューを閉じ、ボリュームメニューを開きます。
	消音	音声が消音されていない場合: 音声を消音し、消音メニューを開きます	消音メニューが表示されている場合、音声を消音解除し、消音解除メニューを表示します。
		音声が消音されている場合: 音声を消音解除し、消音解除メニューを開きます	消音解除メニューが表示されている場合、音声を消音し、消音メニューを表示します。
			他のメニューが表示されている場合、メニューを閉じます。音声が消音されていない場合、音声を消音し、消音メニューを開きます。
			他のメニューが表示されている場合、メニューを閉じます。音声が消音されている場合、音声を消音解除し、消音解除メニューを開きます。

重要:



1. リモコンとQumiの間に何も妨害物がないことを確認してください。リモコンとQumiの間に妨害物があると、信号が反射面で跳ね返されることがあります。
2. Qumiのボタンとキーはリモコンの対応するボタンと同じレイアウトになっており、機能もほぼ同等です。本ユーザーズマニュアルは、リモコンに基づく機能を説明しています。



Qumiとリモコンボタン

Qumiは、リモコンまたはQumi上部のキーパッドを使用して操作できます。すべての操作は、リモコンを使って行うことができます。

リモコンはメニューのカーソルをナビゲートするためにのみ使用されますが、メディア機能の制御にも使用できます(音楽とビデオ再生)。リモコンでメディア機能を生後する方法の詳細については、15を参照してください。

注:

MHL機能:

アプリ設定について、▲(上)、▼(下)、◀(左)および▶(右)が方向矢印として使用され、ENTERおよび終了が含まれます。

リモコンを用いるスマートデバイスの制御:

プロジェクタが、MHL互換スマートデバイスからのコンテンツを表示している場合、スマートデバイスを制御するためにリモコンを使用することができます。

MHLモードに入るには、スマートデバイスを制御するために、矢印キー(▲上、▼下、◀左、▶右)、終了制御ボタンを利用可能です。

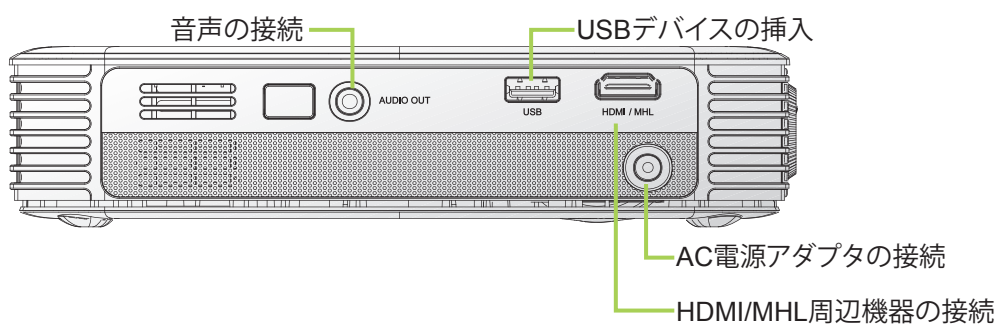


第2章 使用の手引き

必要なもの

多くのタイプの外部デバイスと周辺機器をQumiに接続できます。DVDプレーヤーを接続してムービーを再生できます。カムコーダーとデジタルカメラもビデオの再生と写真の表示に使用できます。

適切なケーブルを使用することで、これらのデバイスをQumiに接続できます。接続するデバイスに適切な出力コネクタが装備されていることを確認してください。



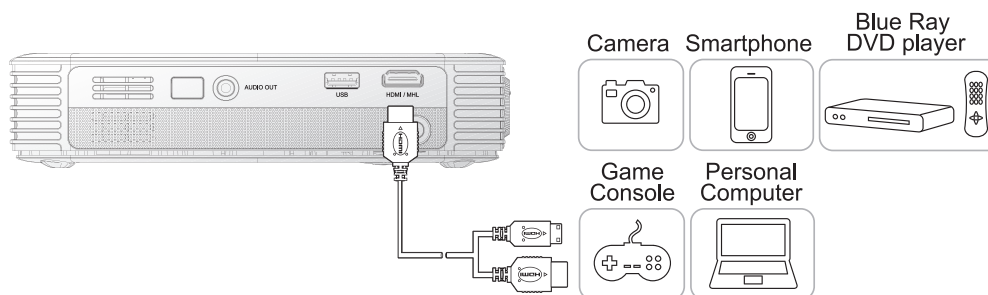
警告:

安全のための注意事項として、接続を行う前にQumiと接続しているデバイスへのすべての電源を外してください。

Qumiのセットアップ

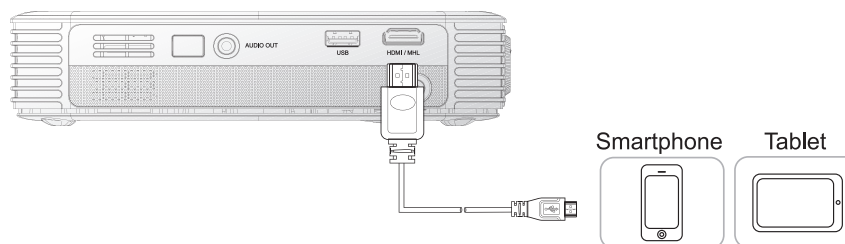
HDMIによる周辺機器の接続

HDMIケーブルを使用して、QumiにHDMI互換周辺機器を接続します（オプション）。



MHLデバイスに接続する

HDMI/MHLケーブル（オプション）を使用してMHL互換デバイスにQumiを接続します。



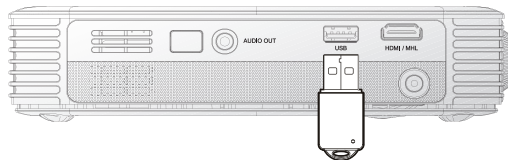
注：

マイクロUSBを介さずに出力する一部のMHL互換デバイスの場合、特別なケーブルアダプタが必要となります。

Samsung デバイス用のアダプタは別売です。

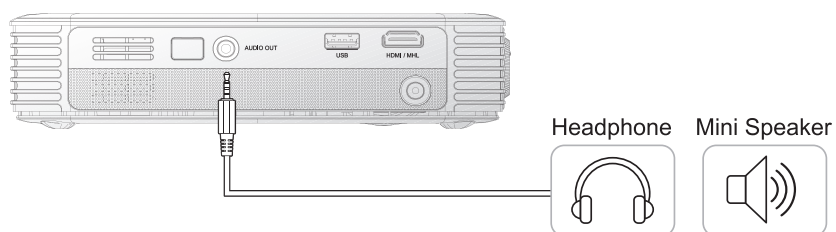
USBドライブの挿入

ストレージデバイスを適切なポートに挿入して、QumiにUSBドライブを接続します。



音声の接続

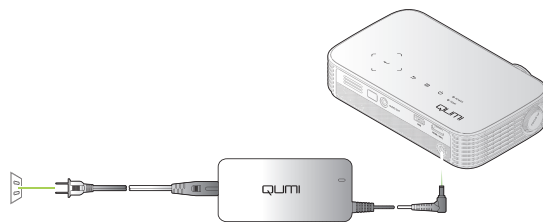
音声出力ポートに挿入して、Qumiにイヤホンまたはミニスピーカーを接続します。



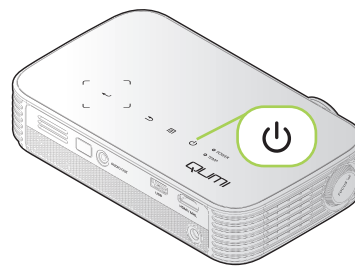
Qumiの開始と停止

1. AC電源アダプタをQumiに接続します。他の端をAC電源アダプタの壁コンセントに差し込みます。

注:
アダプタモデルは、国によって異なる場合があります。



2. 電源ボタンを押してQumiの電源をオンにします。



Qumiスプラッシュ画面が表示され、接続されたデバイスが検出されます。

The Qumi splash screen logo, which is the word "QUMI" in a white, stylized font on a solid green background.


3. リモコンの◀または▶ボタンを押して、再生するための機能を選択します。


- メディア
- QumiCast
- USB接続
- HDMI/MHL
- Mirror



4. 電源ボタンを押してQumiの電源をオフにします。

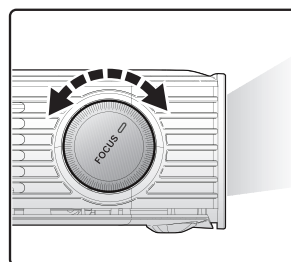


5. 「電源オフ? /電源を再投入してください。」メッセージが表示されたら、 電源ボタンを押します。プロジェクタがオフになります。

 電源をオフにしますか?
電源ボタンをもう一度押してください。

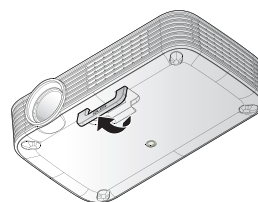
イメージの調整

投射されたイメージがクリアでない場合、イメージがクリアになるまでフォーカスリングを左右に動かすことでイメージを調整できます。



プロジェクタの高さを調整する

プロジェクタの高さを調整するためのキックスタンドを下に反転します。

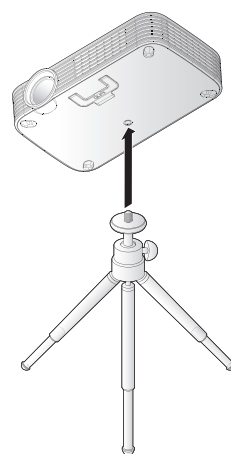


三脚の使用

Qumi下部に三脚を接続すると、Qumiに三脚を使用できます。多くの一般的な三脚を接続できます。

サポートされる三脚仕様:

- タイプ: 三脚
- スロットサイズ: 1/4-20 L6.3 mm



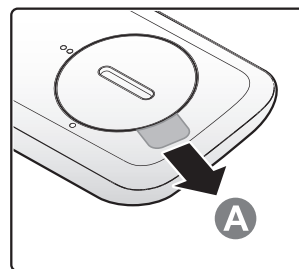
QUMI



リモコンのセットアップ

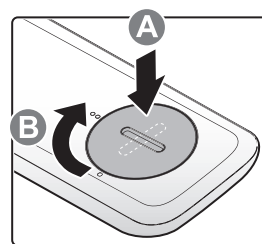
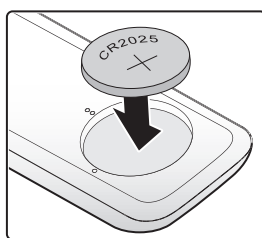
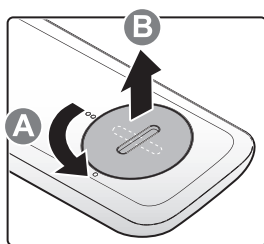
リモコンには3Vリチウムバッテリー(CR2025)が1本付いています。バッテリーはリモコンに事前にセットされています。

リモコンの使用を開始するには、バッテリー室からプラスチックタブ(A)を取り出します。



リモコンのバッテリーの交換

1. 矢印(A)の方にカバーを回転させてバッテリー室のカバーを取り外します。カバーを矢印(B)の方に持ち上げます。
2. 古いバッテリーを取り外し、新しいバッテリーをプラスの側が上を向くようにして挿入します。
3. 図に示す通り、カバーを取り付けます。



注意:

1. 3Vのリチウムバッテリー(CR2025)のみを使用してください。
2. 使用済みバッテリーは地方自治体の条例に従って廃棄してください。
3. Qumiを長期間使用しないときは、バッテリーを取り外してください。

操作範囲

リモコンはIR(赤外線)伝送を使用してQumiを制御します。Qumiにリモコンを直接向ける必要はありません。

リモコンはQumiから約7メートルの半径以内、およびQumi面より上下15度以内で適切に機能します(リモコンをQumiの両側またはリアに直角にして持っていない場合)。

Qumiがリモコンに反応しない場合、Qumiに近づけてください。

第3章 Qumiのユーザインターフェース

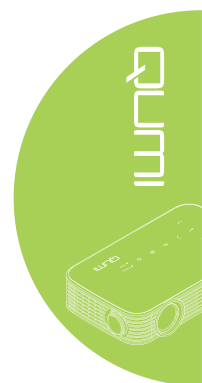
概要

Qumiのユーザインターフェース(UI)は、簡単な構成と操作を提供するために設計されています。また、UIを用いることで、完全なメディア体験のために、スマートデバイス(スマートフォンまたはタブレット)あるいはUSBドライブのメディアにアクセスすることができます。



UIには、5つの主要機能が含まれます:

- メディア – 内部メモリまたは接続されたUSBドライブに保存されたメディアを使って、写真、音楽、音声およびドキュメントを表示・再生することができます。
- QumiCast – スマートデバイスからメディアをストリーミングしたり、接続されたAndroid/iOS/Mac/Windowsデバイスをミラーリングしたりすることができます。
- USB接続 – 接続されたPCをストレージデバイスとして使用することができます。
- HDMI/MHL - 接続されたHDMIまたはMHLデバイスを使って投映します。
- Mirror - Androidデバイスにミラーリングすることにより投映します。





メディア

メディアセンターは、Qumiを通してメディアファイルを表示するための内部メモリ、USBおよび設定ツールを装備しています。

メインメニューで、リモコンの◀または▶を押して、**メディア**を選択し、◀を押します



サポートされる形式

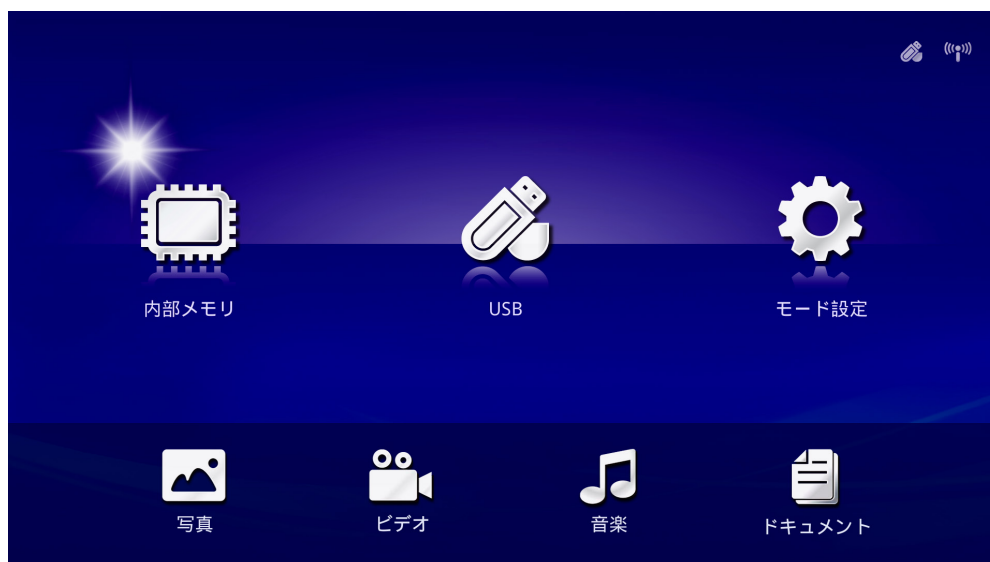
次のファイル形式がサポートされます:

- イメージ: JPEG, BMP
- 音声: MP1/MP2/MP3, WMA, OGG, ADPCM-WAV, PCM-WAV, AAC
- 音声記録: MP3, WAV
- ビデオ: AVI, divx, MKV, TS, DAT, VOB, MPG, MPEG, MOV, MP4, WMV
- Adobe® PDF (.pdf) (PDF 1.0、1.1、1.2、1.3と1.4)
- Microsoft® Word (.doc/.docx)
- Microsoft® PowerPoint (.ppt/.pptx/.ppx/.ppsx) (アニメおよびスライドの切り替えには対応していません)
- Microsoft® Excel (97-2010, .xls/.xlsx)

内部メモリ

内部メモリツールは、外部メディアファイルをQumilに保存するための機能を提供します。

1. メディアで、リモコンの◀または▶ ボタンを押して、**内部メモリ**を選択し、◀を押します。
2. リモコンの◀または▶ ボタンを押して、**写真**、**ビデオ**、**音楽**または**ドキュメント**を選択します。

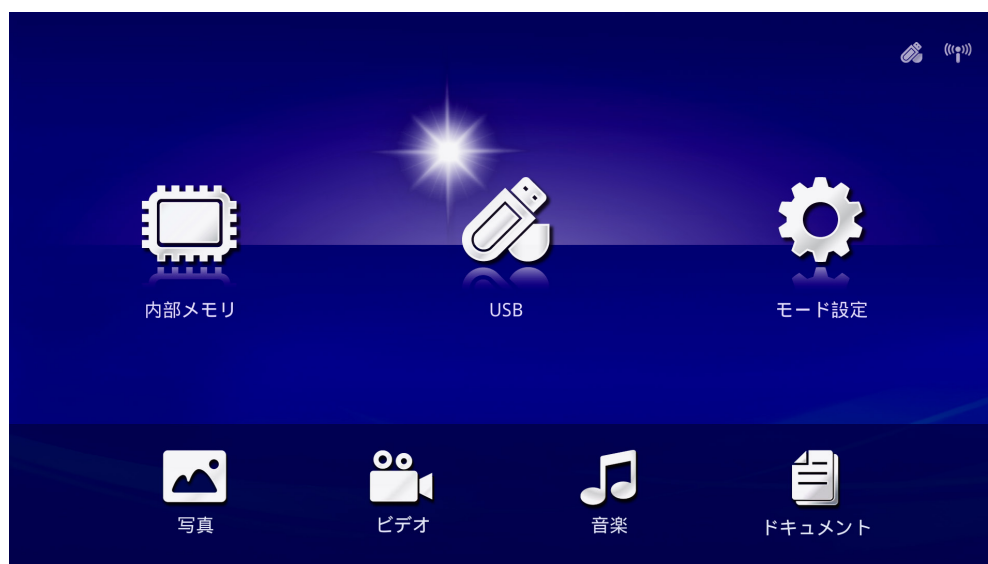


機能	説明
写真	写真を表示したり、スライドショー機能を提供したりします。 19ページの写真 を参照してください。
ビデオ	映画ファイルを再生することができます。 20ページのビデオ を参照してください。
音楽	音声ファイルを再生することができます。 21ページの音楽 を参照してください。
ドキュメント	ドキュメントファイルを表示することができます。 22ページのドキュメント を参照してください。 注: 中国語(簡体字)形式の太字およびパスワード保護されたファイルはサポートされていません。

USB

USBツールは、接続されたUSBドライブからメディアファイルを表示するための機能を提供します。

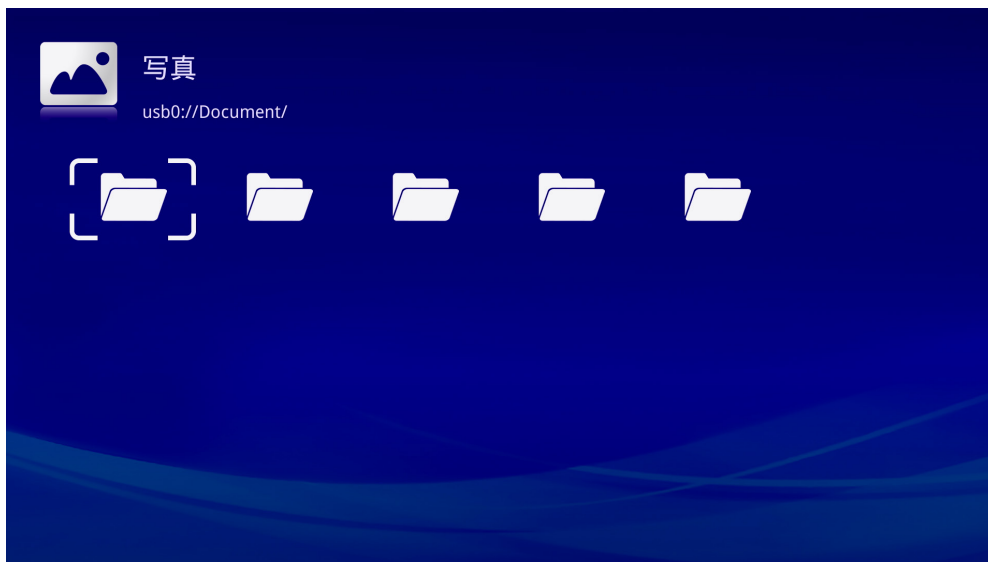
1. メディアで、リモコンの◀または▶ボタンを押して、**USB**を選択し、◀を押します。
2. リモコンの◀または▶ボタンを押して、**写真**、**ビデオ**、**音楽**または**ドキュメント**を選択します。










機能	説明
写真	写真を表示したり、スライドショー機能を提供したりします。 19ページ の 写真 を参照してください。
ビデオ	映画ファイルを再生することができます。 20ページ の ビデオ を参照してください。
音楽	音声ファイルを再生することができます。 21ページ の 音楽 を参照してください。
ドキュメント	ドキュメントファイルを表示することができます。 22ページ の ドキュメント を参照してください。 注: 中国語(簡体字)形式の太字およびパスワード保護されたファイルはサポートされていません。

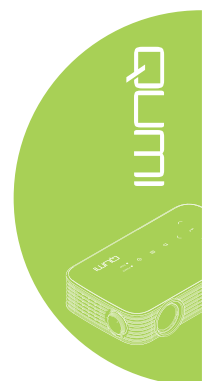
写真

接続されたUSBドライブまたは内部メモリで利用可能なイメージが写真メニューに表示されます。



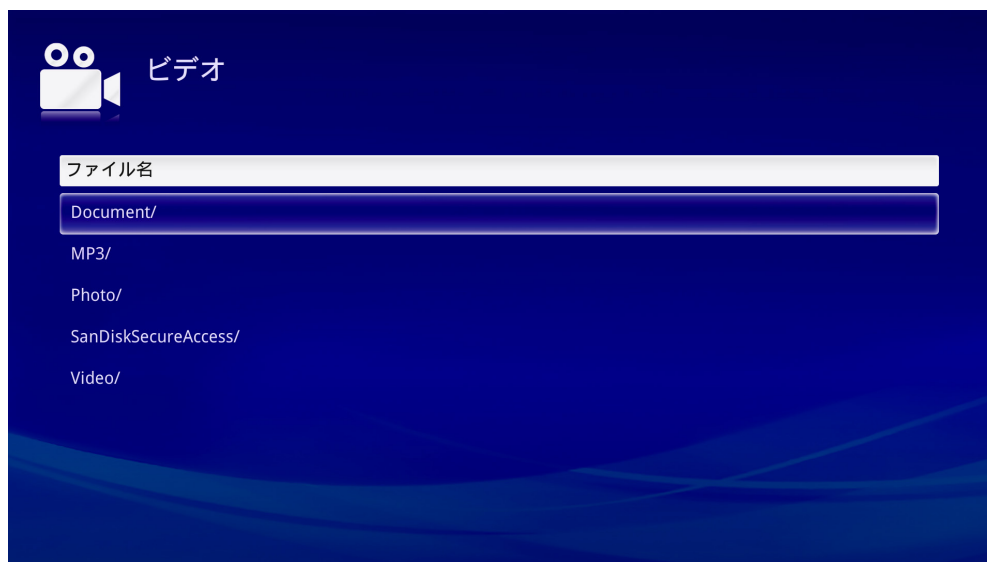
リモコンの▲、▼、◀または▶ ボタンを押して、イメージを選択し、◀を押して、表示します。コントロールパネルが、イメージの中央下に表示されます。以下の機能は、コントロールパネルからご利用いただけます。

アイコン	説明
	前の画像にスクロールする場合に選択します。
	次の画像にスクロールする場合に選択します。
	反時計回りに90°イメージを回転させます。
	時計回りに90°イメージを回転させます。
	イメージの回転をリセットします。
	内部メモリまたはUSBデバイス内のすべてのイメージのスライドショーを開始する場合に選択します。
	写真情報を表示する場合に選択します。



ビデオ

接続されたUSBドライブまたは内部メモリで利用可能なビデオがビデオメニューに表示されます。

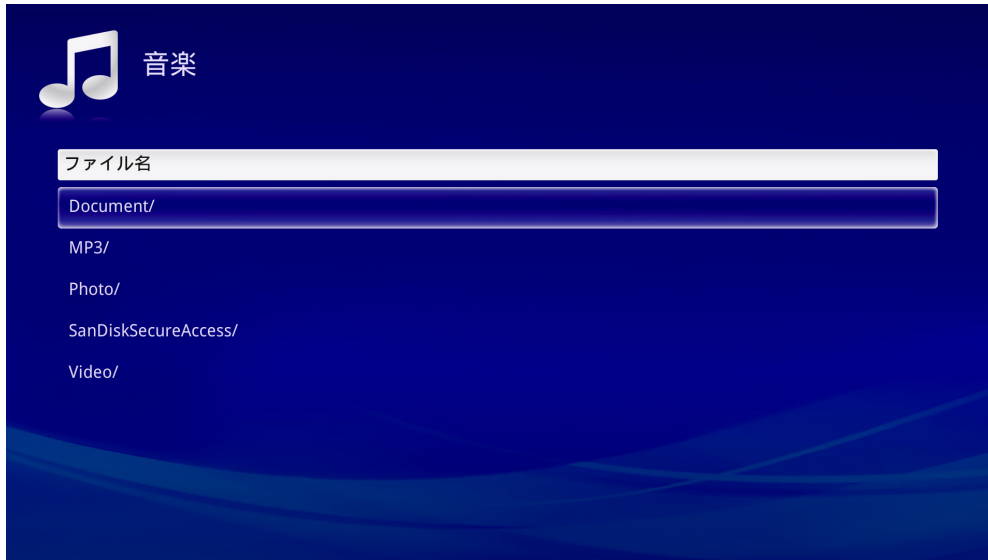


リモコンの▲または▼ボタンを押して、ビデオを選択し、◀を押して、表示します。また、コントロールパネルがイメージと共に表示されます。次の表は、利用可能な機能を表示します。








アイコン	説明
◀	前のファイルに再生選択範囲を移動する場合に選択します。
◀◀	現在の再生マーカーを逆にする場合に選択します。
⏮ / ▶	選択したファイルを再生する場合に選択します。もう一度押すと、一時停止したり、選択範囲を再生したりします。
⏸	現在再生しているファイルを停止する場合に選択します。
▶▶	現在の再生マーカーを前方に移動する場合に選択します。
▶	次のファイルに再生選択範囲を移動する場合に選択します。
🔄	繰り返しモード用の情報。

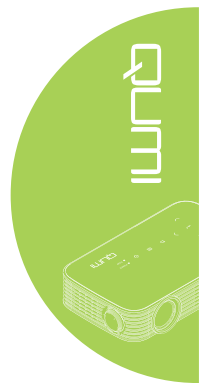
音楽

接続されたUSBドライブまたは内部メモリで利用可能な音楽が音楽メニューに表示されます。



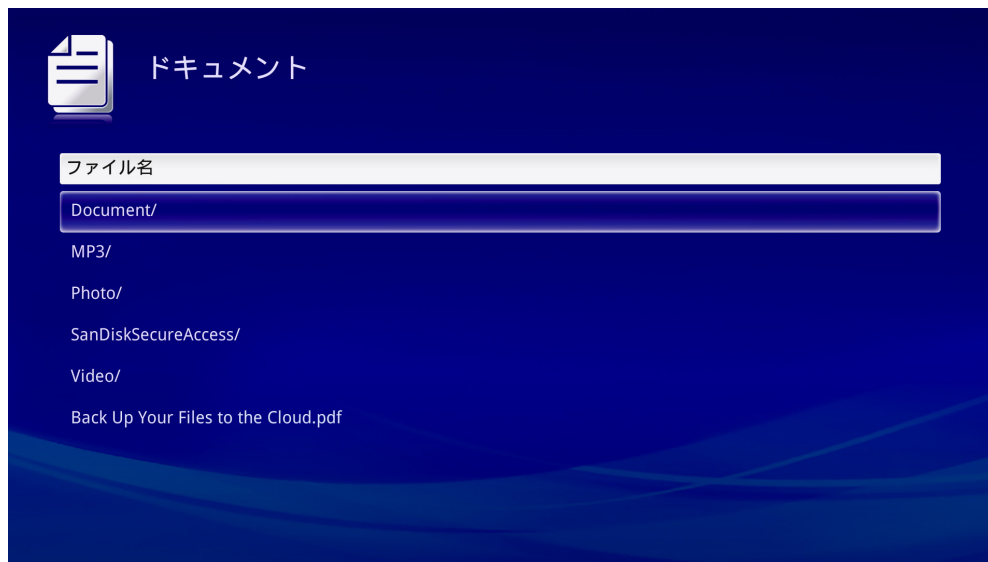
リモコンの▲または▼ボタンを押して、音楽を選択し、←を押して、表示します。また、コントロールパネルが音楽と共に表示されます。次の表は、利用可能な機能を表示します。

アイコン	説明
	前のファイルに再生選択範囲を移動する場合に選択します。
	現在の再生マーカーを逆にする場合に選択します。
	選択したファイルを再生する場合に選択します。もう一度押すと、一時停止したり、選択範囲を再生したりします。
	選択したファイルを停止する場合に選択します。
	現在の再生マーカーを前方に移動する場合に選択します。
	次のファイルに再生選択範囲を移動する場合に選択します。
	繰り返しモード用の情報。



ドキュメント

接続されたUSBドライブまたは内部メモリで利用可能なドキュメントがドキュメントメニューに表示されます。



リモコンの▲または▼ボタンを押して、ドキュメントを選択し、◀を押して、表示します。また、コントロールパネルがドキュメントと共に表示されます。次の表は、利用可能な機能を表示します。

アイコン	説明
▲	ドキュメントが画面の境界線外にスケーリングされている場合、ドキュメントを上スクロールします。
▼	ドキュメントが画面の境界線外にスケーリングされている場合、ドキュメントを下スクロールします。
◀	ドキュメントが画面の境界線外にスケーリングされている場合、ドキュメントを左にスクロールします。
▶	ドキュメントが画面の境界線外にスケーリングされている場合、ドキュメントを右にスクロールします。
🔍	ドキュメント上でズームインする場合に選択します。
🔍	ドキュメント上でズームアウトする場合に選択します。

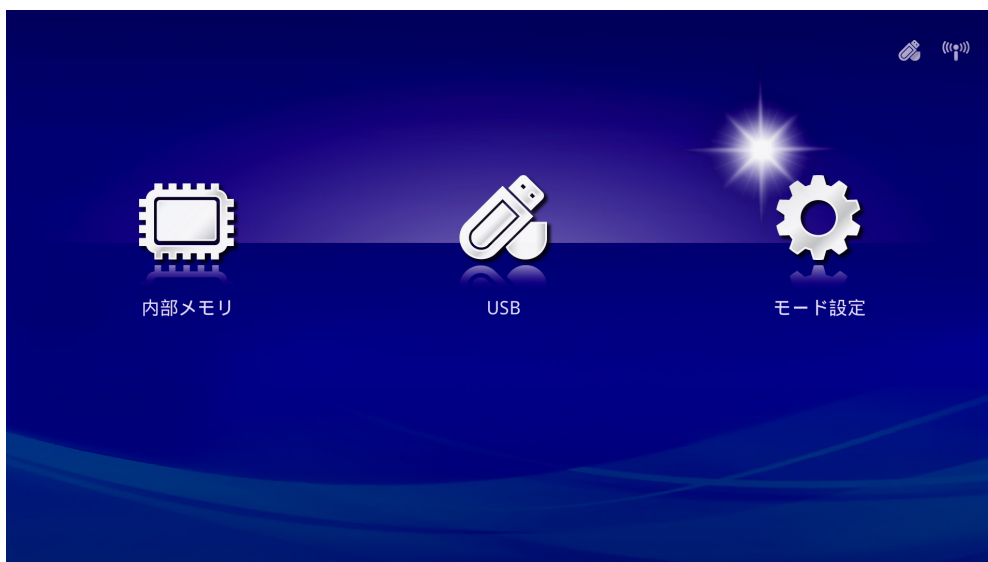
注:

ディスプレイモードで、リモコンの▲、▼、◀または▶ボタンを押して、イメージを移動および配置します。

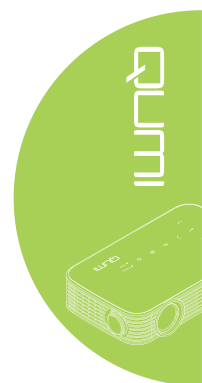
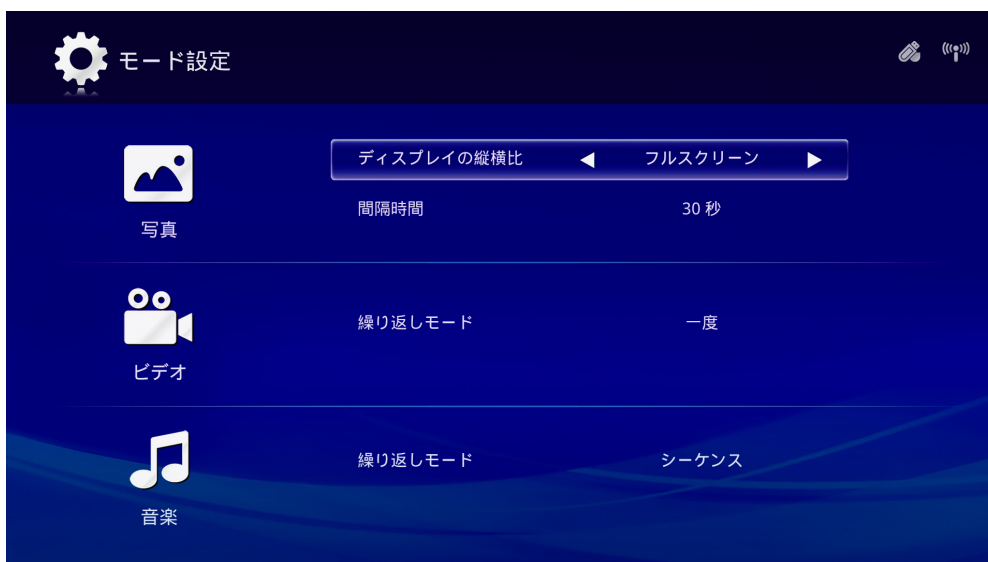
モード設定

設定メニューを用いて、写真、ビデオおよび音楽機能に対する設定にアクセスすることができます。

1. メディアで、リモコンの◀または▶ボタンを押して、**設定**を選択し、◀を押します。

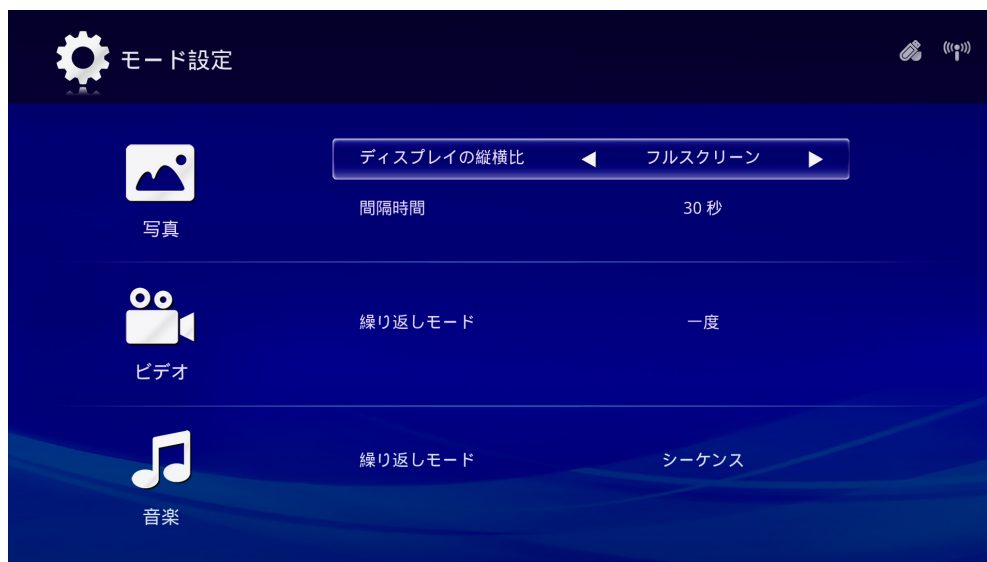


2. リモコンの▲または▼ボタンを押して、**写真**、**ビデオ**または**音楽**を選択し、◀または▶を押して、設定を調整します。



写真

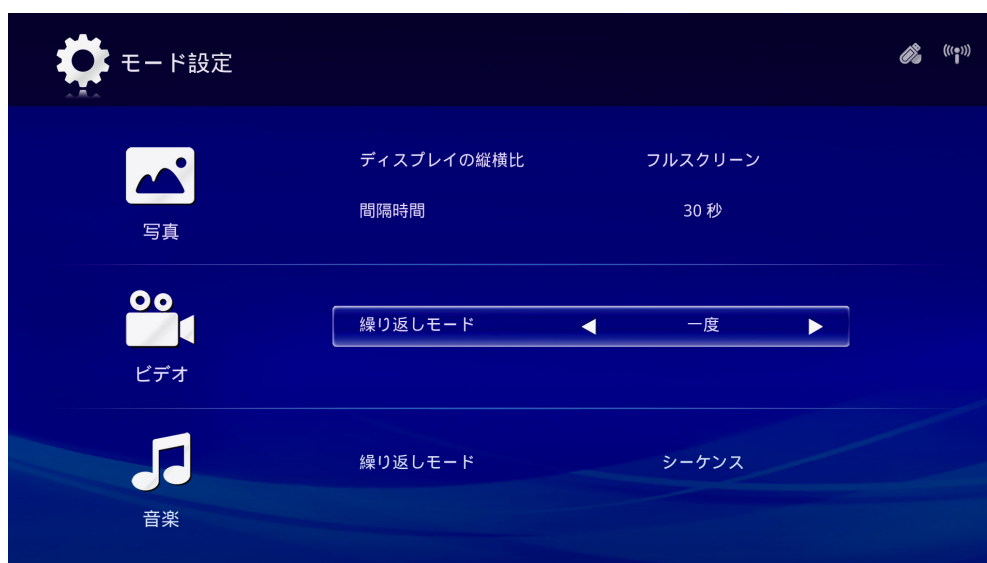
リモコンの▲または▼ボタンを押して、項目を選択し、リモコンの◀または▶ボタンを押して、設定を変更します。



項目	説明
ディスプレイの縦横比	表示比率(オリジナルまたは全画面表示)を選択します。
間隔時間	設定したパターンの継続時間を選択します(10秒、30秒または1分)。

ビデオ

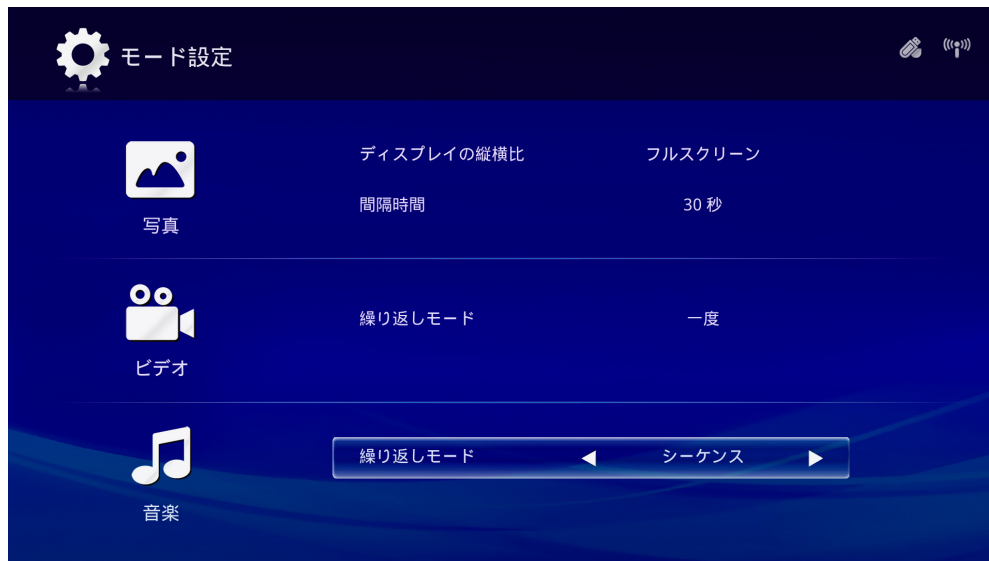
リモコンの◀または▶ボタンを押して、設定を変更します。



項目	説明
繰り返しモード	繰り返しモード(シーケンス、シングルまたは1回)を選択します。

音楽

リモコンの◀または▶ ボタンを押して、設定を変更します。



項目	説明
繰り返しモード	繰り返しモード(シーケンス、シングルまたは1回)を選択します。





QumiCast

システム要件

QumiCastソフトウェアは、Mac、iOS、AndroidおよびWindowsオペレーティングシステムで使用できます。以下は、ソフトウェア要件のリストです：

- Mac OS 10.9またはそれ以上
- iOS8またはそれ以上
- Android 4.2またはそれ以上
- Windows 7, 8, 8.1またはそれ以上

QumiCastのセットアップ

QumiCastのダウンロード/インストール：

- スマートデバイス：iOS APP StoreまたはGoogle Play
あるいは
QRスキャナーアプリを使って、QumiCast LANのメインページ上のQRコードをスキャンします。
- PC: <http://www.vivitekcorp.com/qumicast/>

注：

1. 詳細または最新のQumiCastアプリのダウンロードについては、「<http://www.vivitekcorp.com/qumicast/>」にアクセスしてください。
2. ご利用のPCをQumiデバイスと同じネットワークに接続する必要があります。



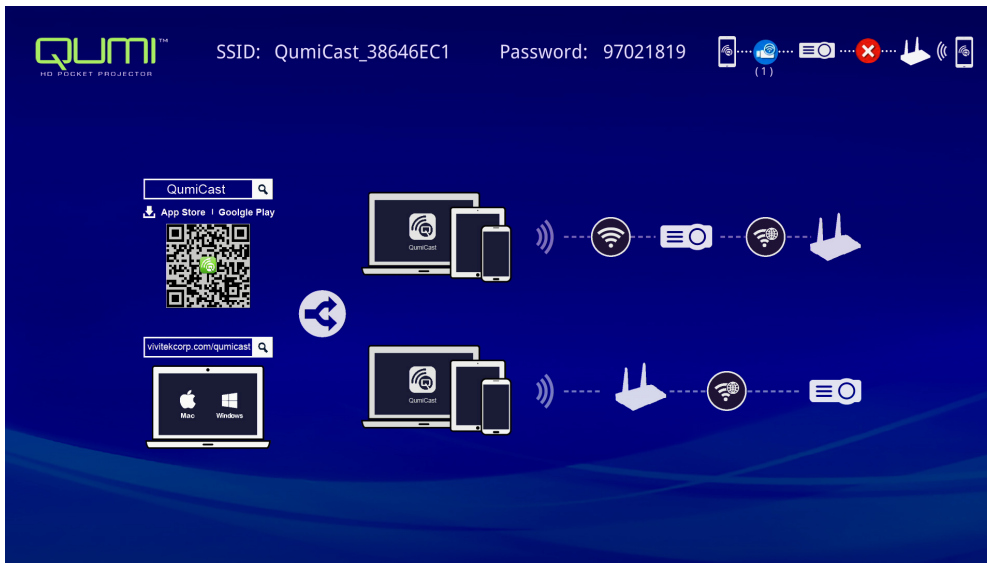
APセットアップモード

Qumiをネットワークアクセスポイント(AP)として設定することで、QumiCastソフトウェアを介してQumiメニューにアクセスすることができます。更に、QumiがWi-Fi接続を確立している場合、ご利用のデバイスでインターネットにアクセスすることができます。

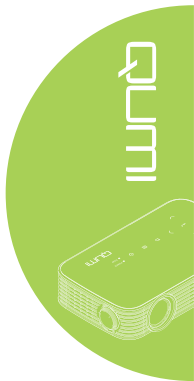
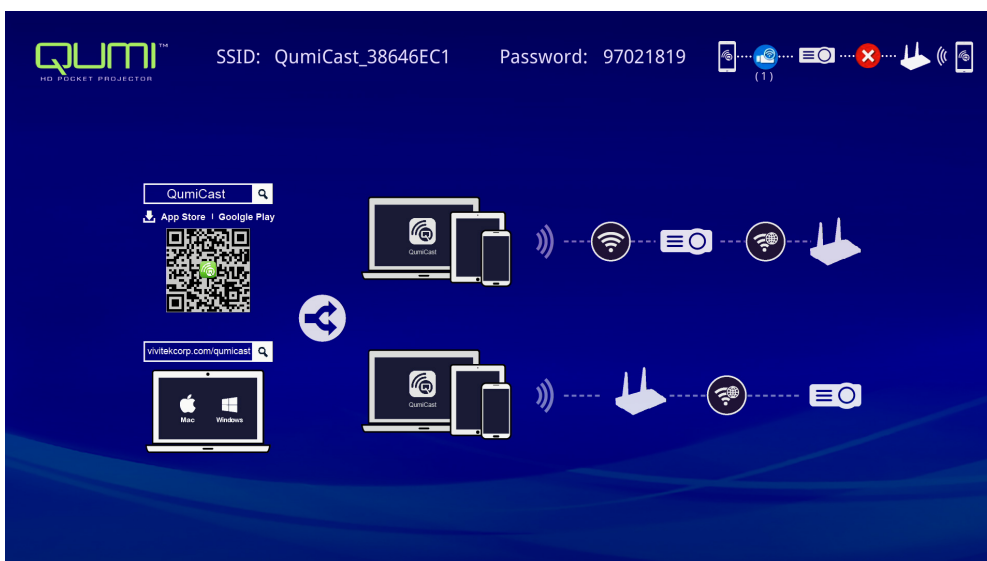
1. メインメニューで、リモコンの◀または▶ボタンを押して、**QumiCast**を選択します。←を押して、続行します。

ご利用のスマートデバイス上でQumiCastソフトウェアにアクセスするには、まず、スマートデバイスにアプリをダウンロードしなければなりません。

2. 画面上QRコードをスキャンしたり、App StoreまたはGoogle Playからダウンロードしたりすることができます。QumiCastを検索します。



3. ご利用のデバイス上でWi-Fi機能をオンに切り替えます。
4. ネットワーク設定で、メインメニューで表示されるようにSSID(QumiCast_XXXXXXXX)を選択します。
5. パスワードの入力を求められたら、画面に表示されるようにパスワードを入力してください(メイン画面のXXXXXXXX)。



6. Qumiとスマートデバイス間のネットワーク接続が確立します。ネットワーク状態が更新されます。次のイメージを参照してください。

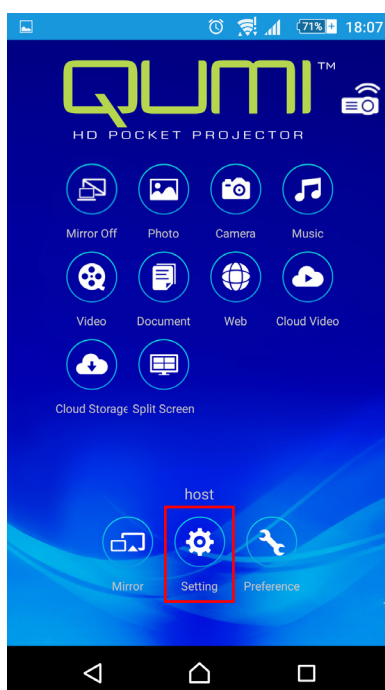


7. デバイス上で、**QumiCast**アプリケーションをタップして開きます。

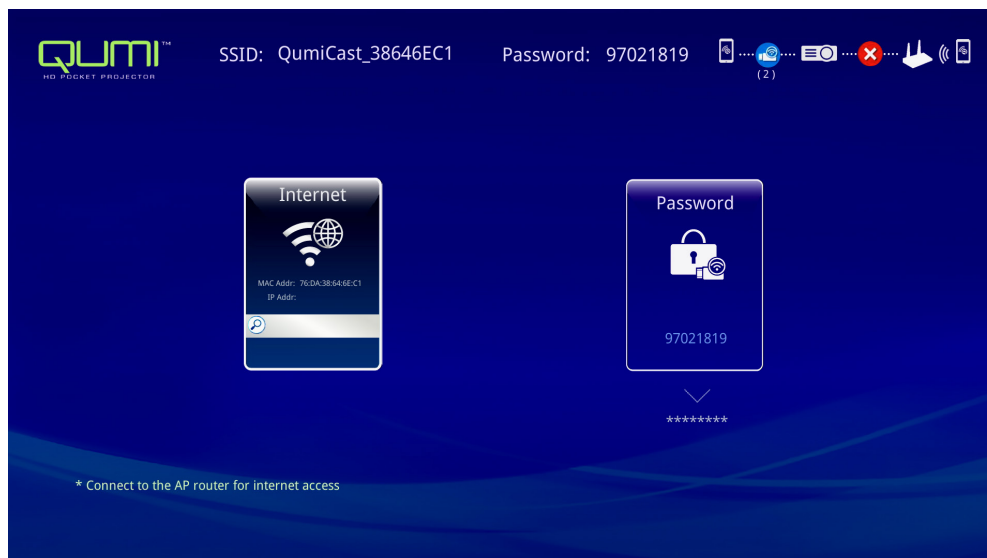
注:

QumiCastアプリケーションを開く前にデバイスをQumiにネットワーク接続する必要があります。

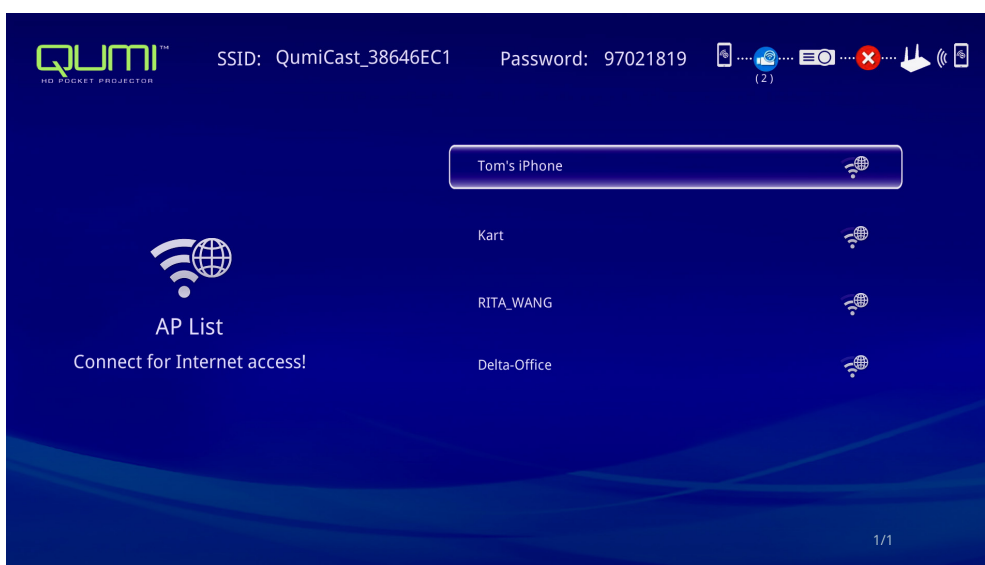
8. **QumiCast**をタップして、QumiCastメニューを表示します。他のメニューが表示されない場合、ご利用のスマートデバイスは、ネットワーク上のQumiを検出していません。
9. QumiCastメニューで、**設定**をタップします。



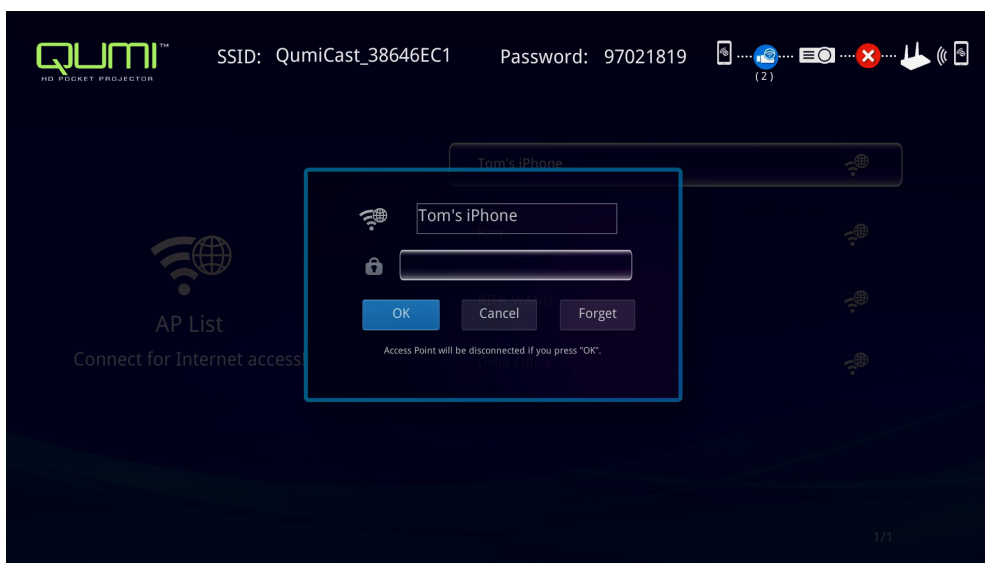
10. **設定**メニューで、スマートデバイスまたはリモコンを使って、**インターネット**を選択します。
11. **←**をタップまたはリモコンで押して、続行します。



12. リモコンまたはスマートデバイス上で▲あるいは▼を押して、表示されたSSIDを選択し、←を押します。



13. SSIDを選択すると、パスワードプロンプトが表示されます。必要に応じて関連パスワードを入力します。**OK**をタップまたはクリックして入ります。**取り消し**をタップまたはクリックして、プロセスを停止します。**削除**をクリックして、選択したWi-Fiプロファイルを削除します。



注:

ワイヤレス接続の設定後、Qumiとご利用のデバイスの再接続が必要となる場合があります。

ルーターセットアップモード

この構成では、Qumiとデバイスの両方がローカルルーターに接続されます。この方法では、QumiCastソフトウェアは、ネットワーク設定を通してQumiにリモートでアクセスすることができます。

1. メインメニューで、リモコンの◀または▶を使って、**QumiCast**を選択します。◀➡を押して、続行します。

ご利用のスマートデバイス上でQumiCastソフトウェアにアクセスするには、まず、スマートデバイスにアプリをダウンロードする必要があります。

2. 画面上QRコードをスキャンしたり、App StoreまたはGoogle Playからダウンロードしたりすることができます。QumiCastを検索します。
3. ご利用のデバイス上でWi-Fi機能をオンに切り替えます。
4. ネットワーク設定で、Wi-Fiセットアップ用のSSIDを選択します。
5. プロンプトが表示されたら、選択したSSIDに対するパスワードを入力します。
6. Qumiとご利用のスマートデバイスの両方が同じネットワークルーターに接続されました。次のイメージを参照してください。
7. デバイス上で、QumiCastアプリケーションをタップして開きます。

注:

QumiCastアプリケーションを開く前にデバイスをQumiにネットワーク接続する必要があります。

8. **QumiCast**をタップして、QumiCastメニューを表示します。他のメニューが表示されない場合、ご利用のスマートデバイスは、ネットワーク上のQumiを検出しません。
9. QumiCastメニューで、**設定**をタップします。
10. 設定メニューで、スマートデバイスまたはリモコンを使って、**インターネット**を選択します。
11. ◀➡をタップまたはリモコンで押して、続行します。
12. リモコンの▲または▼を押して、表示されたSSIDを選択し、◀➡を押します。
13. SSIDを選択すると、パスワードプロンプトが表示されます。必要に応じて関連パスワードを入力します。**OK**をタップまたはクリックして入ります。**取り消し**をタップまたはクリックして、プロセスを停止します。**削除**をクリックして、選択したWi-Fiプロファイルを削除します。

注:

1. Qumiとデバイスの両方を同じネットワークサブネットを使用するようにセットアップする必要があります。ネットワークのセットアップを正しく行わないと、Qumiにアクセスすることができません。
2. ワイヤレス接続を設定後、ご利用のスマートデバイスとQumiの間の接続が切断される場合があります。続行するために、QumiCastアプリの使って、再度Qumiに接続します。



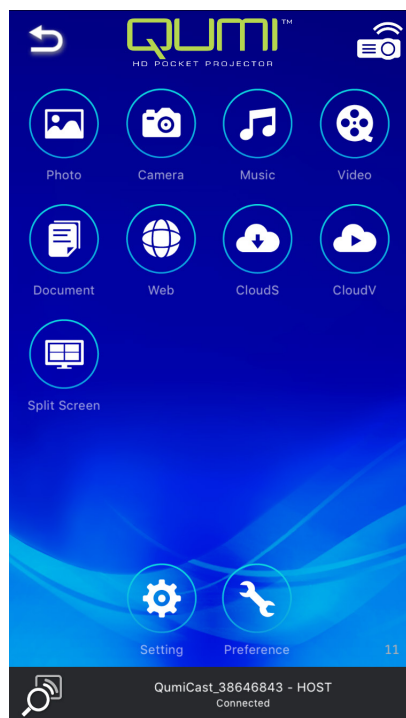
QumiCastの概要

QumiCastアプリケーションは、Qumiのリモート機能制御を提供します。

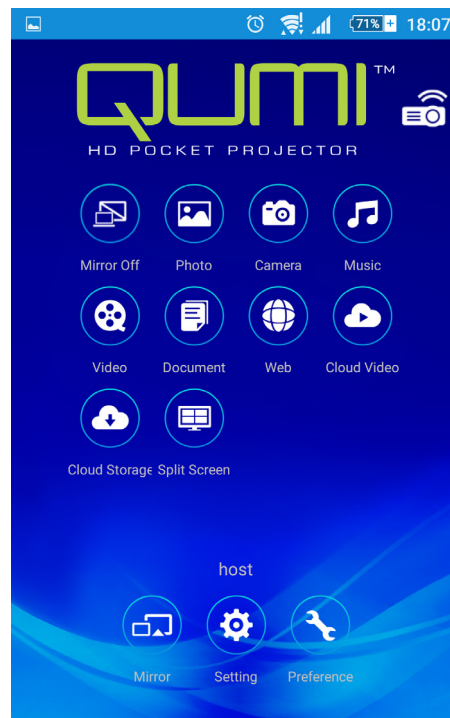
注:

スクリーンショットはあくまで参考用です。







記載されている機能名は参照用であり、実際の使用例とは異なる場合があります。











iOS



Android

アイコン	機能	説明
	ミラーオフ	タップして、Mirrorモードを停止します。 注: ミラーオフは、Androidデバイスでのみ使用可能です。
	写真	利用可能なイメージファイル(カメラロールまたは接続されたデバイス)を表示する場合に選択します。  を使って、選択した写真を編集してから、変更内容と共にイメージを保存します。
	カメラ	デバイスのカメライメージを表示する場合に選択します。
	音楽	デバイスのオーディオファイルを再生する場合に選択します。
	ビデオ	カメラロールまたは接続されたデバイスからビデオファイルを表示する場合に選択します。 選択すると、Qumiの内部メモリに保存する前にファイル名を入力するように求められます。 注: ビデオ形式: MPEG1/2/4/H. 字幕形式: srt, smi, ssaおよびcdg形式(UTF-8コーディング)。



アイコン	機能	説明
	ドキュメント	<p>特定のドキュメントを表示する場合に選択します。簡単なコメントが利用可能です。変更されたドキュメントは、イメージとしてカメラロールに保存されます。</p> <p>Microsoft® Office、PDFおよびAppleのiWorksをサポートします。使用する前にドキュメントファイルをご利用のデバイスに同期します。</p>
	ウェブ	内蔵ブラウザアプリケーションを表示する場合に選択します。
	CloudS クラウドストレージ	<p>クラウドプロバイダーを開き、利用可能なファイルを選択・ダウンロードするために選択します。</p> <p>注: アプリケーションへのCloudSのアクセスを許可するために、クラウドプロバイダのアプリケーションをインストールする必要があり、適切なアカウント情報が利用可能である必要があります。</p>
	CloudV クラウドビデオ	<p>クラウドプロバイダーを開き、利用可能なファイルを選択・ダウンロードするために選択します。</p> <p>注: アプリケーションへのCloudVのアクセスを許可するために、クラウドプロバイダのアプリケーションをインストールする必要があり、適切なアカウント情報が利用可能である必要があります。</p>
	分割画面	<p>分割画面オプションを表示する場合に選択します。分割画面では、1、2、4画面表示を選択することができます。複数ユーザが、Qumiを通して表示する画面位置を選択することができます。</p> <p>注: ビデオストリーミング、音楽ストリーミング、オンラインビデオストリーミングなどのストリーミング機能の使用が制限されます。</p>
	Mirror	<p>タップして、Mirrorモードに切り替えます。有効にすると、このモードでは、ご利用のスマートデバイスのコンテンツを直接投映スクリーンに表示します。</p> <p>オンに切り替えると、ご利用のスマートフォンをQumiに接続できるようにする60秒のカウントダウンが表示されます。ご利用のデバイス設定ページでMiracast機能を選択します。</p> <p>注: Mirrorは、Androidデバイスでのみ使用可能です。</p>
	設定	設定メニューでは、次の構成(出力解像度、SSIDとパスワードの変更、ルーター接続設定は、ブートアップモードの優先順位およびファームウェア更新)へのアクセスを提供します。
	プリファレンス	QumiCastアプリケーションのプリファレンス設定 (優先するデバイスの選択、ホストコントロール設定)を変更し、バージョン情報を表示します。



USB接続

USB接続機能を用いることで、接続されたPCを外部ストレージデバイスとして機能させることができます。接続されると、Qumiは、外部ストレージデバイスとして機能し、ファイルを直接Qumiの内部メモリに転送することができます。

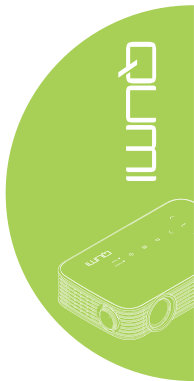
次の情報を参照してください。

1. PCとQumiの両方の電源をオンにした後、タイプA USBケーブルの一方の端をPCのUSBソケットに、他方の端をQumiのUSBソケットに接続します。
2. リモコンを使って、**USB接続**を選択し、**←**を押して、PCへのUSB接続を開始します。
3. PCがQumiを検出した場合、PCから「マイコンピュータ」のディスクをチェックします。

新しいフォルダは、外部ドライブとして使用するためのQumi内部メモリです。他のストレージドライブと同様に、内部メモリフォルダにファイルをドラッグアンドドロップすることができます。

注:

1. Qumi用の内蔵メモリは4GBです(2.5GBがユーザアクセス可能です)
2. 以下の画面は参照用です。文字(F:)は、PCによる自動指定です。ご利用のPC上の指定とは異なる場合があります。





HDMI/MHL

HDMI/MHL機能を使って、HDMIまたはHDMI/MHLケーブルを介してデバイスを接続します。

HDMI/MHL機能を通して、Qumiの投映機能を使用するには、次の情報を参照してください。

1. デバイスとQumiの両方の電源をオンにした後、HDMI/MHLケーブルの一方の端をデバイスのHDMIまたはMHLソケットに、他方の端をQumiのHDMIソケットに接続します。
2. リモコンを使って、**HDMI/MHL**を選択し、**←**を押します。

デバイスが接続されると、プロジェクタがデバイス上の画面を表示します。





Mirror

スマートデバイス上のコンテンツを直接投映スクリーンに表示します。

注:

Mirrorは、Androidデバイスでのみ使用可能です。

Mirrorを通してQumiの投映機能を使用するには、これらの指示に従ってください。

1. プロセスを開始する前にデバイスの電源をオンにしてください。
2. リモコンを使って、**Mirror**を選択し、**←**を押します。
3. ご利用のデバイス上でWi-Fi機能をオンに切り替えます。
4. ネットワーク設定で、メインメニューで表示されるようにSSID(QumiCast_XXXXXXX)を選択します。
5. パスワードの入力を求められたら、画面に表示されるようにパスワードを入力してください(メイン画面のXXXXXXX)。

デバイスが接続されると、プロジェクタがデバイス上の画面を表示します。



第4章 OSD (オンスクリーンディスプレイ)設定

OSDメニュー制御

QumiにはOSD(オンスクリーンディスプレイ)設定メニューがあり、色、ディスプレイ、情報、オーディオおよび管理設定などの設定を調整/変更することができます。OSDメニューには、5つのメニューがあります。

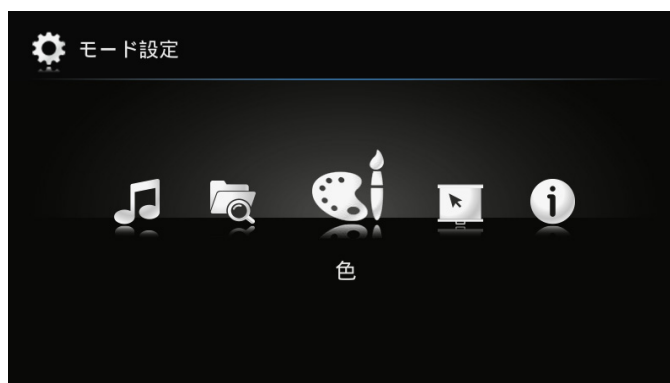
- 色 - このメニューで、イメージ品質のさまざまなアスペクトを調整できます。
- ディスプレイ - このメニューで、プロジェクタのモードおよび他の設定を調整できます。
- 情報 - このメニューで、デバイス情報を検索できます。
- オーディオ - このメニューで、オーディオの多くの設定を調整できます。
- 管理 - このメニューで、デフォルトの言語とその他の設定を調整できます。

OSDメニューには、リモコンの \odot メニューボタンまたはキーパッドの \odot メニューボタンを押すことにより、アクセスすることができます。

OSDのナビゲート

リモコンのカーソルボタンまたはQumi上部のボタンを使用してナビゲートし、OSD設定を変更できます。

1. OSDメニューに入ります。
2. ◀または▶ ボタンを押して、5つのメニューを移動し、◀を押します。
3. ▲または▼ボタンを押すと、カーソルはメニュー内部を上下に動きます。
4. ◀または▶ ボタンを押して、特定設定の値を変更します。
5. リモコンの \odot メニューボタンを押して、OSDを閉じます。
 \odot 終了ボタンを押して、サブメニューを閉じます。



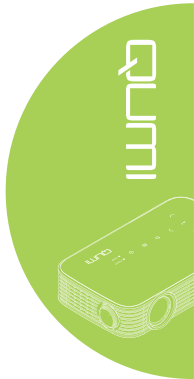
OSD言語の設定

OSDに表示される言語を変更できます。OSDの言語を変更するには、次のステップを実行します。

1. **OSD**メニューに入ります。◀または▶ ボタンを押して**管理**を選択し◀を押します。



2. 希望の言語がカーソルで表示されるまで、◀または▶ ボタンを押します。
3. **終了**ボタンを押して、サブメニューを閉じる、または、**メニュー**ボタンを押して、OSDを閉じます。



OSDメニューの概要

次のイラストを使用して設定を素早く見つけるか、設定の範囲を決定します。

メインメニュー	サブメニュー	設定	
色	ディスプレイモード	プレゼンテーション、明るい、ゲーム、ムービー、TV	
	輝度	0~100	
	コントラスト	0~100	
	シャープネス	0~3	
	色温度	高い、標準、低い	
	ガンマ	1.0, 1.2, 1.4, 1.6, 1.8, 2.0, 2.2, 2.4	
	彩度	0~100	
	色相	-180~180	
	壁スクリーン	白、黄、青、ピンク、緑	
ディスプレイ	投写モード	正面、背面、天井背面投写、天井正面投写	
	縦横比	自動、フル、4:3、16:9、レターボックス	
	垂直台形補正	-40~40	
	水平台形補正	-25~25	
	4コーナー補正		
	自動垂直台形補正	オフ、オン	
	HDMI色範囲	自動、制限付き範囲、フル範囲	
	HDMIスキャン情報	自動、アンダースキャン、オーバースキャン	
	3D	3Dモード	自動、Frame Packing、サイドバイサイド、トップアンドボトム、Fシーケンシャル、オフ
		3D L/R逆転	
		デジタルズーム	1.0x, 1.1x, 1.2x, 1.3x, 1.4x, 1.5x



OSDメニューの概要

メインメニュー	サブメニュー	設定
情報	WiFi IP	
	解像度	
	3D形式	
	LED時間	
	ファームウェアバージョン	
オーディオ	音量	0~10
	ミュート	オフ、オン
管理	言語	English, Čeština, Dansk, Deutsch, Español, Français, Italiano, Magyar, Nederlands, Polski, Português, Suomi, Svenska, Türkçe, Русский, ไทย, 繁體中文, 简体中文, 日本語, 한국어, Việt Nam, العربية
	自動停止	オフ、15分、30分、1時間、2時間
	AC電源オン	オフ、オン
	LEDモード	エコ、標準
	ファン速度	標準、高
	WiFi	オフ、オン
	ファームウェアアップグレード	
	すべてリセット	



色メニュー

色メニューにアクセスし設定を調整するには、次のステップを実行します。

1. OSDメニューに入ります。
2. ◀または▶ ボタンを押して、色メニューを選択し、◀を押します。
3. ▲または▼ ボタンを押すと、カーソルは色メニュー内部を上下に動きます。
4. ◀または▶ ボタンを押して、適用可能な各設定の値を変更します。



項目	説明
ディスプレイモード	◀または▶ ボタンを押してディスプレイモードを設定します。
輝度	◀または▶ ボタンを押してディスプレイの輝度を調整します。
コントラスト	◀または▶ ボタンを押してディスプレイのコントラストを調整します。
シャープネス	◀または▶ ボタンを押してディスプレイのシャープネスレベルを調整します。
色温度	◀または▶ ボタンを押して色温度を調整します。
ガンマ	◀または▶ ボタンを押してディスプレイのガンマ補正を調整します。
彩度	◀または▶ ボタンを押してディスプレイの彩度を調整します。
色相	◀または▶ ボタンを押してディスプレイの色相を調整します。
壁スクリーン	◀または▶ ボタンを押して、壁に応じて、適切な色を選択します。

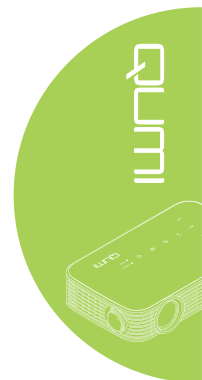
ディスプレイメニュー

ディスプレイメニューにアクセスし設定を調整するには、次のステップを実行します。

1. OSDメニューに入ります。
2. ◀または▶ ボタンを押して、ディスプレイメニューを選択し、◀を押します。
3. ▲または▼ ボタンを押すと、カーソルはディスプレイメニュー内部を上下に動きます。
4. ◀または▶ ボタンを押して、適用可能な各設定の値を変更します。

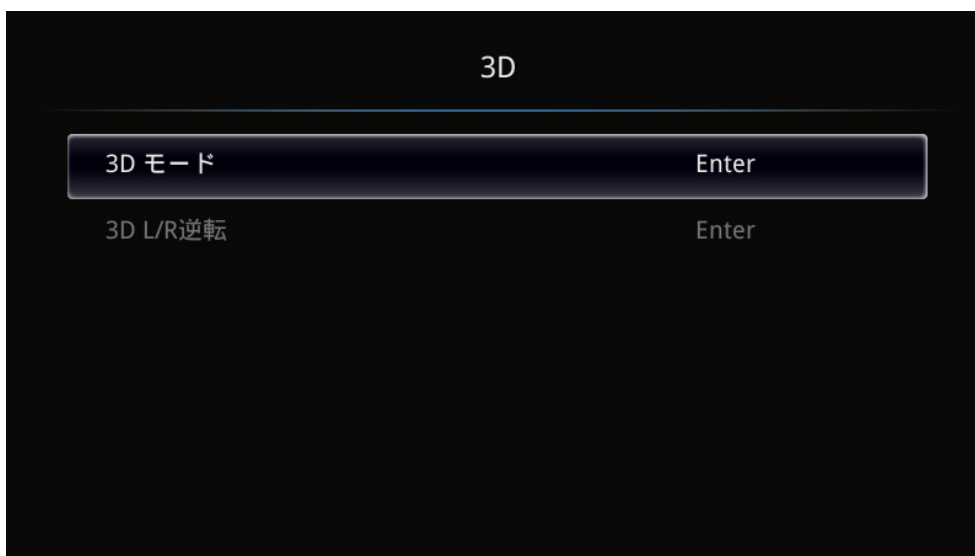


項目	説明
投写モード	◀または▶ ボタンを押して、正面、背面、天井背面投写、天井正面投写の4つの投写方法から選択します。
縦横比	◀または▶ ボタンを押してビデオ縦横比を調整します。
垂直台形補正	◀または▶ ボタンを押してディスプレイの垂直キーストーンを調整します。
水平台形補正	◀または▶ ボタンを押してディスプレイの水平キーストーンを調整します。
4コーナー補正	◀を押して、▲、▼、◀または▶ ボタンを押して、イメージの4コーナーを調整します。
自動垂直台形補正	◀または▶ ボタンを押して、自動垂直キーストーンの有効/無効を切り替えます。
HDMI色範囲	◀または▶ ボタンを押して、接続された出力デバイスに応じて、適切なHDMI色範囲を選択します。
HDMIスキャン情報	◀または▶ ボタンを押して、出力デバイスに応じて、オーバースキャン比を調整します。
3D	◀を押して3Dメニューに入ります。42ページの3Dを参照してください。
デジタルズーム	◀または▶ ボタンを押してデジタルズームインまたはズームアウトを調整します。



3D

3D設定を調整するには、**←**を押して**3D**サブメニューに入ります。



項目	説明
3Dモード	← を押して3Dモードを選択します。
3D L/R逆転	← を押して、3D L/R逆転を有効または無効にします。

注:

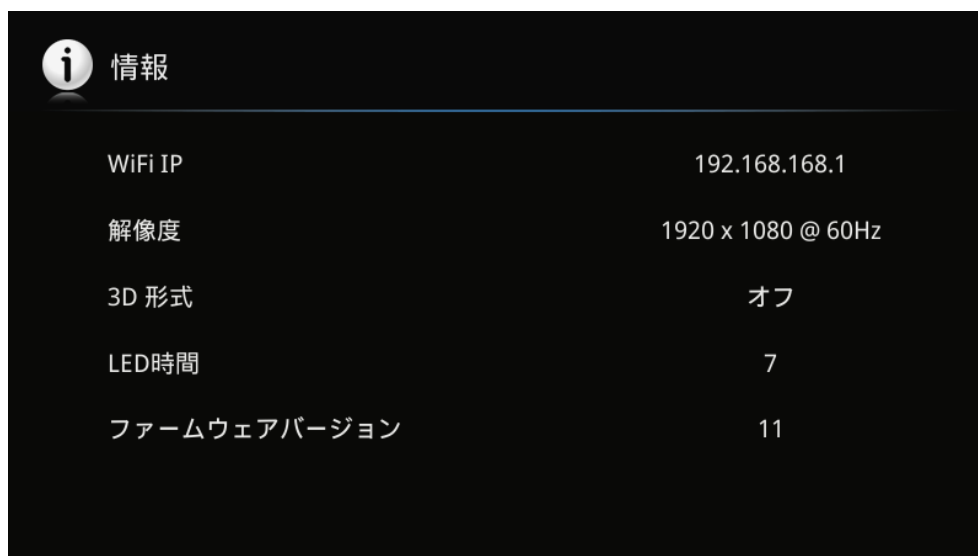
3D機能を使用するには、3Dディスクメニューの下のプレーヤーで見つかった3D設定の動画の再生を有効にする必要があります。

1. 適切な3Dソースがない場合、3D OSDメニュー項目はグレーの色になります。これはデフォルトの設定です。
2. プロジェクタが適切な3Dソースに接続されていると、3D OSDメニュー項目を選択できます。
3. 3Dイメージを表示するには3Dメガネを使用します。
4. 3D DVDまたは3Dメディアファイルからの3Dコンテンツを必要とします。
5. 3Dソースを有効にする必要があります(一部に3Dオン-オフ選択機能が付いている3D DVDコンテンツもあります)。
6. DLPリンク3Dシャッターメガネが必要です。
7. メガネをオンにします。メガネには、通常電源のオン/オフスイッチが付いています。それぞれのタイプのメガネには、専用の構成指示があります。メガネに付属の構成指示に従ってセットアッププロセスを完了してください。

情報メニュー

Qumiの情報を表示するには、次のステップを実行します。

1. **OSD**メニューに入ります。
2. ◀または▶ ボタンを押して、**情報**メニューを選択し、←を押します。



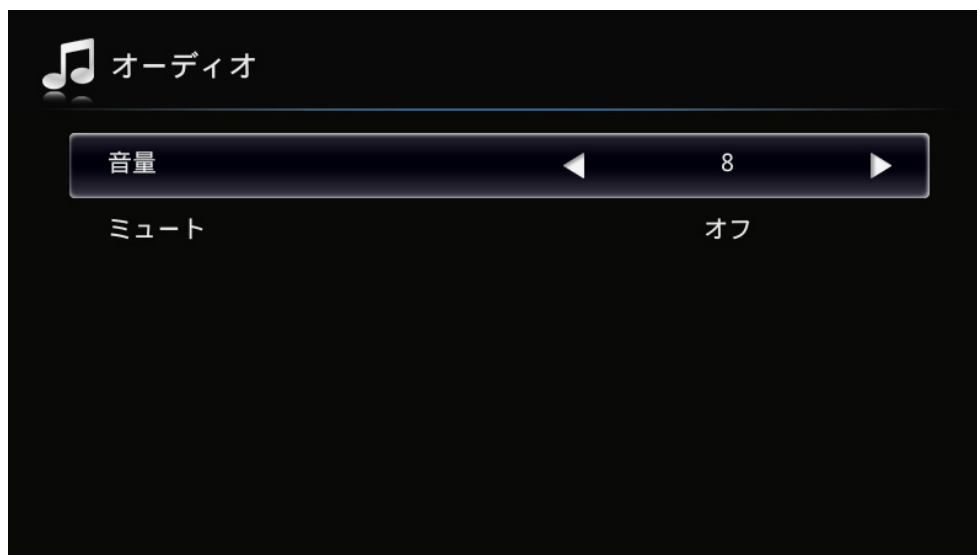
項目	説明
WiFi IP	デバイスのWiFi IPアドレスを表示します。
解像度	解像度情報を表示します。
3D形式	3D形式を表示します。
LED時間	LED使用情報(時間単位)を表示します。
ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンを表示します。



オーディオメニュー

オーディオメニューにアクセスし設定を調整するには、次のステップを実行します。

1. **OSD**メニューに入ります。
2. ◀または▶ ボタンを押して、**オーディオ**メニューを選択し、◀を押します。
3. ▲または▼ ボタンを押すと、カーソルは**オーディオ**メニュー内部を上下に動きます。
4. ◀または▶ ボタンを押して、適用可能な各設定の値を変更します。



項目	説明
音量	◀または▶ ボタンを押して音声ボリュームを調整します。
ミュート	◀または▶ ボタンを押して、スピーカーのオン/オフを切り替えます。



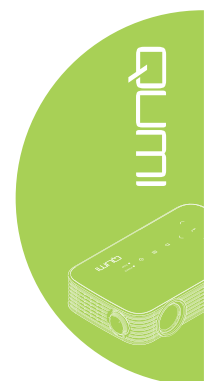
管理

管理メニューにアクセスし設定を調整するには、次のステップを実行します。

1. OSDメニューに入ります。
2. ◀または▶ ボタンを押して**管理**メニューを選択し◀を押します。
3. ▲または▼ ボタンを押すと、カーソルは**管理**メニュー内部を上下に動きます。
4. ◀または▶ ボタンを押して、適用可能な各設定の値を変更します。



項目	説明
言語	◀または▶ ボタンを押して異なるローカライゼーションメニューを選択します。
自動停止	◀または▶ ボタンを押して、自動電源オフの有効/無効を切り替えます。
AC電源オン	◀または▶ ボタンを押して、AC電源オンの有効/無効を切り替えます。
LEDモード	◀または▶ ボタンを押してLEDモードを選択し、明るさを強くしたり弱くしたりしてLEDの寿命を節約します。
ファン速度	◀または▶ ボタンを押してメニューに入り、ノーマルと高速でファン速度を切り替えます。 注: 高温、高湿度、高高度(1500m以上の高地)領域では、高速を選択するようにお勧めします。
WiFi	◀または▶ ボタンを押して、WiFi機能の有効/無効を切り替えます。
ファームウェアアップグレード	◀を押して、ファームウェアをアップグレードします。
すべてリセット	◀を押してすべてのアイテムを工場出荷状態プリセット値にリセットします。



第5章 Qumiのお手入れ

Qumiの洗浄

Qumiを洗浄して埃や汚れを取り除くと、円滑に操作を行うことができます。



警告:

1. 洗浄前に、Qumiの電源をオフにしプラグをコンセントから抜く必要があります。この指示を守らないと、負傷したりシステムが損傷する結果となります。
2. 洗浄するときは、水に湿らせた布のみを使用してください。Qumiの換気口に水が入らないようにしてください。
3. 洗浄中に少量の水がQumiの内部に入った場合、Qumiのプラグを抜き喚起の良い場所に数時間おいてから使用してください。
4. 洗浄中に大量の水がQumiの内部に入った場合、Qumiのプラグを抜き修理を依頼してください。

レンズの洗浄

光学レンズの洗浄液はほとんどのカメラ店やその他の小売店でご購入できます。Qumiレンズを洗浄するには、次のステップを実行します。

1. 光学レンズの洗浄液を少量取って、きれいで柔らかい布に含ませます。(洗浄液を直接レンズに塗布しないでください。)
2. 円を描くようにレンズをそっと拭きます。



注意:

1. 研磨洗浄剤や溶剤は使用しないでください。
2. 変色や色あせの原因となるため、Qumiケースに洗浄液が触れないようにしてください。



トラブルシューティング

よくある問題と解決法

以下のガイドラインでは、Qumiの使用中に発生すると思われる問題に対処するヒントを提供します。それでも問題が解決できない場合、販売店に解決法をお尋ねください。

問題は線が完全に接続されていないというような、単純な場合もときどきあります。問題固有の解決法に進む前に、次の考えられる問題を見直してください。

- 別の電気装置を使用してコンセントが正常に作動していることを確認する。
- Qumiの電源がオンになっていることを確認する。
- すべての接続がしっかり接続されていることを確認する。
- 接続されたデバイスの電源がオンになっていることを確認する。

トラブルシューティング用のヒント

各問題固有のセクションで、推奨された順序でステップを実行します。そうすることで、問題をより速やかに解決できます。

欠陥の内部品の交換を避けるために、問題を見つけて分離するよう試みてください。

例えば、バッテリーを交換しても問題が解決しない場合、最初から入っていたバッテリーを元に戻して次のステップに移ってください。

トラブルシューティングを行っているとき、終了したステップの記録を保管してください。技術サポートに電話を掛けたり修理スタッフに返送するとき、その情報を参照すると役に立つことがあります。

LEDエラーメッセージ

エラーコードメッセージ	電源 緑色の点滅	温度 黄色の点滅
LED光源準備完了	オン	—
過熱エラーT1	オン	オン
T1 I2C故障	4	1
ADC I2C故障	4	2
LED過熱(赤)	オン	1
LED過熱(緑)	オン	2
LED過熱(青)	オン	3
ファン1 (送風機)エラー	6	1
ファン2 (システム)エラー	6	2
赤LEDサーミスタエラー	8	1
緑LEDサーミスタエラー	8	2
青LEDサーミスタエラー	8	3

LEDエラーの場合、AC電源コードを切断し1分待ってからQumiを再起動します。

上の図に一覧されていないその他の状況がある場合、サービスセンターにお問い合わせください。



イメージ問題

問題: 画面にイメージが表示されない

すべての機器の電源をオフにして、正しい順序で再び機器の電源を入れます。

問題: イメージがぼやける

1. Qumiのフォーカスを調整してください。
2. Qumiと画面の距離が指定された範囲内にあることを確認します。
3. 光学レンズが汚れている場合、光学レンズの洗浄用布で洗浄してください。

問題: イメージの上または下の方が広がる(台形効果)

1. Qumiが画面にできるだけ垂直になるように設置してください。
2. OSDでキーストーン設定を調整して問題を修正するか、自動台形補正をオンに設定します。

問題: イメージが反転する

OSDのディスプレイメニューで、投映モード設定の方向を確認してください。

問題: イメージが扁平になりコントラストがつかない

OSDの色メニューでコントラスト設定を調整してください。

問題: 投映されたイメージの色がソースイメージに一致しない

OSDの色メニューで色温度とガンマ設定を調整してください。

リモコンの問題

問題: Qumiがリモコンに反応しない

1. リモコンをQumiのリモートセンサーの方に向けてください。
2. リモコンとセンサーの間に障害物がないことを確認してください。
3. 部屋の蛍光灯をオフにします。
4. バッテリーのプラスとマイナスの向きが正しいことを確認してください。
5. バッテリーを交換してください。
6. 近くの他の赤外線対応デバイスの電源をオフにしてください。
7. リモコンを修理してください。



音声の問題

問題: 音が出ない

1. 音声ソースのボリュームを調整してください。
2. 音声ケーブルの接続を確認してください。
3. 他のスピーカーで音声ソースの出力をテストしてください。
4. Qumiを修理してください。

問題: 音がひずむ

1. 音声ケーブルの接続を確認してください。
2. 他のスピーカーで音声ソースの出力をテストしてください。
3. Qumiを修理してください。

FAQ

1. **QumiをMicrosoft® XboxやSony® PS3などのゲームコンソールに接続することは可能ですか？**

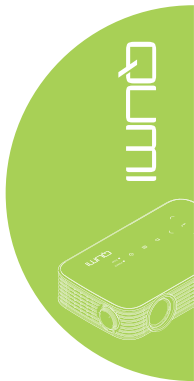
はい、QumiはXboxやPS3コンソールのコンテンツを表示するために使用できます。これには、ゲームコンソールからQumiにHDMIケーブルを接続することで行えます。

2. **Qumiはテレビからコンテンツを投映できますか？**

テレビのコンテンツはケーブルボックス、デジタルセットトップボックスまたは衛星レシーバーを接続することで見ることができます。テレビはそれ自身の画面にイメージを表示することしかできないからです。例えば、ケーブルボックスを使用する場合、HDMIケーブルによりQumiに接続できます。

3. **MHLをQumiに接続するには、どうすればいいのですか？**

サポートMHLケーブルを使用してMHLデバイスを接続します。詳細については、www.mhlconsortium.orgを参照してください。





4. デジタルカメラやUSBストレージデバイスからイメージはどのように表示されますか？

イメージと他のコンテンツは次のデバイスをQumiに接続することで表示できます。

- USBフラッシュドライブ、ハードドライブ、カードリーダー
- デジタルカメラ
- スマートフォン
- マルチメディアストレージビューア

デバイスが接続されたら、Qumi Media Suiteを使用することでイメージを表示できます。

5. ビデオデバイスをQumiに接続するにはどのケーブルが必要ですか？

デバイスに適切なポートが装備されている場合、音声/ビデオまたはHDMIまたはMHLケーブルを使用することで、Qumiにビデオデバイスを接続できます。

6. どのタイプのビデオ形式がQumiに対応していますか？

AVI, divx, MKV, TS, DAT, VOB, MPG, MPEG, MOV, MP4, WMV.

7. どのタイプのオーディオ形式がQumiに対応していますか？

MP1/MP2/MP3, WMA, OGG, ADPCM-WAV, PCM-WAV, AAC.

8. どのタイプのドキュメント形式がQUMIに対応していますか？

Microsoft® Office 97-2010 (Word, Excel®, PowerPoint®)、Adobe® PDF (1.0、1.1、1.2、1.3および1.4)。

9. どのタイプの写真形式がQUMIに対応していますか？

JPEGおよびBMP。

10. QumiのLED光源はどのくらい長く持ちますか、また交換できますか？

Qumiは、一般的な光源を使用しません。LED (発光ダイオード)のセットを使用してイメージを明るくし投映します。LEDには従来のランプより長い寿命があります。Qumi LEDは約30,000時間持つと見積もられています。LEDの寿命は明るさ、使用頻度、環境条件などの要素によって異なります。LEDの明るさは時間の経過と共に下がります。LEDモジュールは交換できません。

11. 電源を入れる前に、Qumiでフォーカスを調整し直す必要があるのはどうしてですか？

最高の写真品質を得るためには、操作温度に達したときにフォーカスリングを調整する必要があります。

Vivitekサポートサイト

詳細、サポートおよび製品登録については、www.vivitekcorp.com にアクセスしてください。

仕様

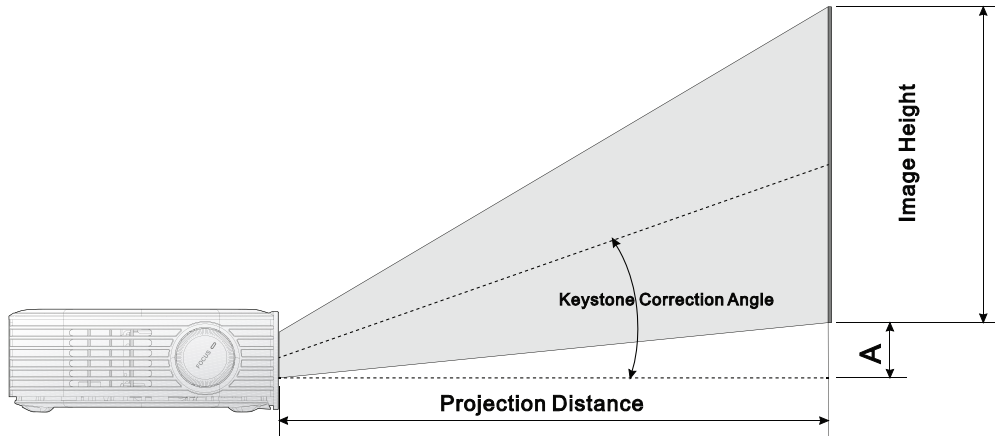
モデル	Qumi Q8シリーズ
ネイティブ解像度	1920x1080 (1080p)
投映距離	1.33m ~ 4m (52" ~ 157")
投映画面サイズ(対角)	1.0m ~ 3.0m (40" ~ 120")
投映レンズ	手動フォーカス
スローレシオ	1.5x
垂直キーストーン補正	+/- 40ステップ
水平キーストーン補正	+/- 25ステップ
投映方法	正面、背面、天井正面投写、天井背面投写
データ互換	VGA、SVGA、XGA、SXGA、SXGA+、UXGA、Mac
ビデオ互換性	480i、480p、720p、1080i、1080p
安全性認定	FCC-B、UL、CCC、CE、PSE、KC、CB、CU、RoHS、IC ES-003(カナダ)
動作温度	5°C ~ 35°C
環境保管条件	-10°C~60°C、5~95%(結露なし)
寸法(幅x奥行きx高さ)	189.5mm (7.46") x 113.8mm (4.48") x 44.3mm (1.74")
ACコンセント	ACユニバーサル100 - 240、Typical @ 110VAC (100-240)/+-10%
消費電力	54W
音声スピーカー	2Wモノスピーカー
入力端末	HDMI/MHL x 1
	USBタイプ A x 1
出力端末	3.5mmイヤホンジャック(ボリューム制御) x 1

注:

製品仕様に関する仕様については、最寄りの販売店にお尋ねください。



投映距離対投映サイズ



投映距離とサイズ表

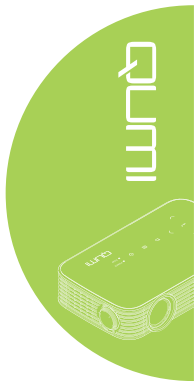
イメージ対角 (インチ/cm)	イメージ幅 (インチ/cm)	イメージ高さ (インチ/cm)	投映距離 (インチ/cm)	オフセットA (インチ/cm)
40/101.6	34.9/88.6	19.6/49.8	52.3/132.8	1.0/2.5
45/114.3	39.2/99.6	22.1/56.1	58.8/149.4	1.1/2.8
50/127.0	43.6/110.7	24.5/62.2	65.4/166.1	1.2/3.0
60/152.4	52.3/132.8	29.4/74.7	78.4/199.1	1.5/3.8
70/177.8	61.0/154.9	34.3/87.1	91.5/232.4	1.7/4.3
80/203.2	69.7/177.0	39.2/99.6	104.6/265.7	2.0/5.1
90/228.6	78.4/199.1	44.1/112.0	117.6/298.7	2.2/5.6
100/254.0	87.2/221.5	49.0/124.5	130.7/332.0	2.5/6.4
110/279.4	95.9/243.6	53.9/136.9	143.8/365.3	2.7/6.9
120/304.8	104.6/265.7	58.8/149.4	156.9/398.5	2.9/7.4

注:

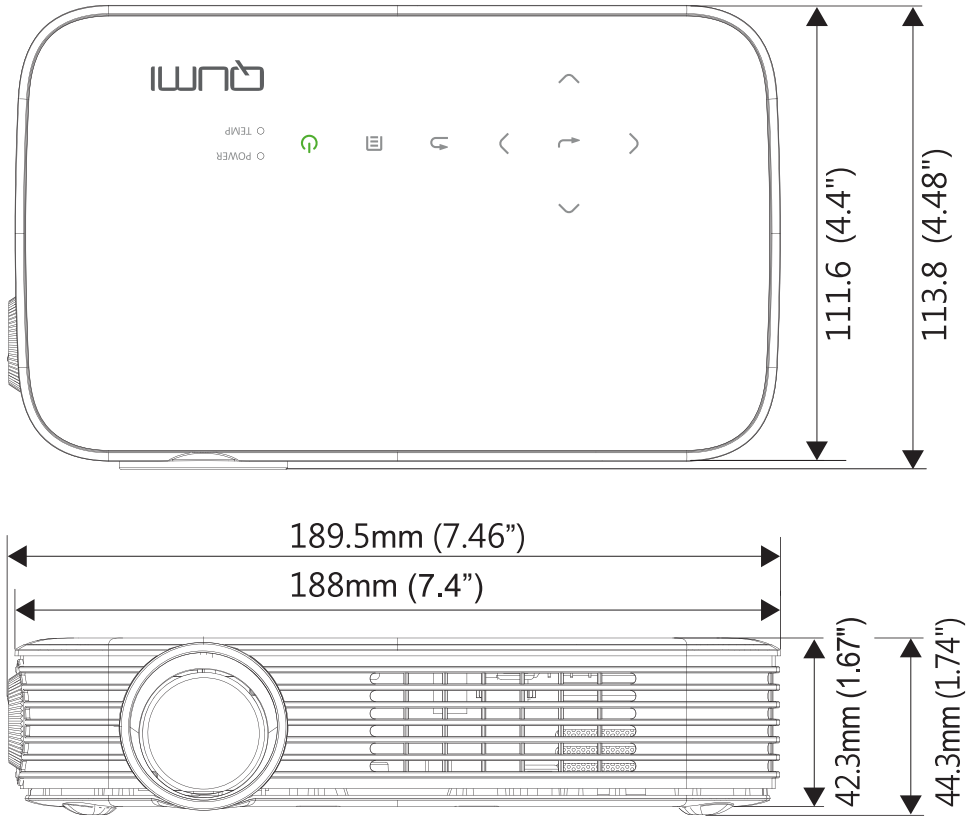
光学部品の偏差のため、オフセットテーブルには10%の公差があります。

タイミングモード表

タイミング	水平同期 (KHz)	垂直同期 (Hz)	3D					
			自動	Frame Packing	サイドバイサイド	トップアンドボトム	Fシーケンシャル	オフ
VESA640x480_60	31.47	59.94	○		○	○	○	
VESA640x480_72	37.86	72.81	○				○	
VESA640x480_75	37.5	75	○				○	
VESA640x480_85	43.27	85.01	○				○	
VESA800x600_60	37.88	60.32	○		○	○	○	
VESA800x600_72	48.08	72.19	○				○	
VESA800x600_75	46.88	75	○				○	
VESA800x600_85	53.67	85.06	○				○	
VESA800x600_120-RB	76.3	119.97	○				○	
VESA1024x768_60	48.36	60	○		○	○	○	
VESA1024x768_70	56.48	70.07	○				○	
VESA1024x768_75	60.02	75.03	○				○	
VESA1024x768_85	68.68	85	○				○	
VESA1024x768_120-RB	97.55	119.99	○				○	
VESA1280x768_60-RB	47.4	59.99	○		○	○	○	
VESA1280x768_60	47.78	59.87	○		○	○	○	
VESA1280x800_60	49.7	59.81	○		○	○	○	
VESA1280x800_75	62.79	74.93	○				○	
VESA1280x800_85	71.55	84.88	○				○	
VESA1280x800_120-RB	101.56	119.91	○				○	
VESA1280x1024_60	63.98	60.02	○		○	○		
VESA1280x1024_75	79.98	75.02						
VESA1280x1024_85	91.15	85.02						
VESA1280x960_60	60	60	○		○	○		
VESA1280x960_85	85.94	85						
VESA1400x1050_60	65.32	59.98						
VESA1440x900_60	55.93	59.89	○		○	○		
VESA1600x1200_60	75	60	○		○	○		
VESA1680x1050_60-RB	64.67	59.88	○		○	○		
VESA1680x1050_60	65.29	59.95	○		○	○		
VESA1920x1080_60	67.5	60	○		○	○		
VESA1920x1200_60-RB	74.04	59.95						
IBM-720x400-70	31.467	70.08	○				○	
MAC-640x480-66	35	66.67	○				○	
MAC-832x624-75	49.722	74.55	○				○	
MAC-1024x768-60	48.773	59.99	○		○	○	○	
MAC-1152x870-75	68.681	75.06	○				○	
SDTV-480i60	15.734	59.94	○		○	○	○	
SDTV-480P59	31.469	59.394	○		○	○	○	
SDTV-576i50	15.625	50	○		○	○	○	
SDTV-576P50	31.25	50	○		○	○	○	
HDTV-720P50	37.5	50	○		○	○	○	
HDTV-720P60	45	60	○		○	○	○	
HDTV-1080i50	28.125	50	○		○	○		
HDTV-1080i60	33.75	60	○		○	○		
HDTV-1080p24	27	24	○		○	○		
HDTV-1080p25	28.13	25	○		○	○		
HDTV-1080P30	33.75	30	○		○	○		
HDTV-1080P50	56.25	50	○		○	○		
HDTV-1080P60	67.5	60	○		○	○		



Qumi距離



法規制の順守

FCC警告

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、商業環境で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。

本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。本装置を住宅地域で使用した場合電波障害を引き起こす可能性があります。掛かる場合、ユーザは自分の費用で障害を修正する必要があります。

FCC準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

カナダ

このクラスBデジタル機器はカナダICES-003に準拠しています。

安全性認定

FCC-B、UL、CCC、CE、PSE、KC、CB、CU、RoHS、ICES-003(カナダ)

廃棄とリサイクル

本製品には適切に廃棄しない場合、有害となるその他の家電系廃棄物が含まれています。国または地方自治体の法または条例に従って、リサイクルまたは廃棄してください。詳細については、米国電子工業会(www.eiae.org)にお問い合わせください。

